

平成16年度

第2期

# 少年町長・議員活動 報告書



平成17年3月 山形県遊佐町

# 目次



Be-chan  
米~ちゃん  
遊佐町イメージキャラクター

少年町長・町長挨拶	2
遊佐町少年町長活動経過報告	3
遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項	4
選挙チラシ	7
投票用紙	8
選挙公報	9
開票風景	11
開票図面・開票結果	12
有権者（中高校生）の提案と政策（抜粋）	13
政策提言1 第6回少年議会より	16
政策提言2 第11回少年議会より	27
政策提言3 第12回少年議会より	32
政策予算により実施したもの	41
少年議会の政策提言により、町が実現したもの	44
宇賀地小学校のみなさんへ	45
新聞記事等	47
遊佐町少年町長・少年議員公選事業プロジェクト名簿 おわりにかえて	50



# 少年町長・町長挨拶

少年町長

## 赤塚 縁



去年5月から12月までの第2期の約半年間、そして、私個人としては第1期からの2年間の少年議会活動を無事終えることができました。第1期、第2期ともその内容は違いましたが、第2期は経験も積んだためもあって、内容が濃いものになったと思います。

有権者の意見をまとめ自分たちで実現していく中で、時間不足や準備不足、個人的には就職活動と、なかなかスムーズに進まない部分も多々ありました。しかし、そんな中でも、議員一人一人が責任をもって活動し、様々な成果を残すことができました。最初は遊佐町で行われている行事もわからなかった議員もいましたが、あらためて、自分達が住む遊佐町に目を向け、まちづくりについて真剣に考えるきっかけになったと思います。また、活動中、地域の方々からたくさんのご協力をいただき、遊佐町の人と人とのつながりの強さを再認識しました。このつながりこそ「遊佐町らしさ」だと思います。これからも町民全員がこのつながりを大事にしていけば、遊佐町は更に住みよい町になると思います。

私にとってこの少年議会の活動は楽しく、とても良い経験となりました。少年町長としての役目は終わりましたが、これからも自分の住む地域と遊佐町のため、積極的に活動していきたいと思っています。

## ゆざに輝け 若者達 — 君たちこそが未来を語る事ができる

遊佐町長

## 小野寺 喜一郎



第2期少年町長の赤塚 縁さん、そして10人の少年議員のみなさん、さらに2年間少年助役をりっぱに果たしてくれた池田 裕紀君、そして少年監査委員、議会事務局の4人のみなさん、約半年間の活動大変ご苦勞様でした。また、ありがとうございます。

去年に引き続き、この半年間のみなさんの活躍は、多くの町民に数々の刺激を与えて頂きました。

みなさんの活躍は、もう、君たちだけの活動ではありません。立派に遊佐町に根付き、遊佐町の未来にとって欠くことのできない活動になりました。この遊佐町少年町長・少年議員公選事業の企画は、若者達が、もう一度自分達の住む地域に目を向け、まちづくりの担い手として、あらゆる場で活動をして欲しいという願いをこめて実施をしてきました。

今、若者達を取り巻く状況は、必ずしもいい方向にあるとは言えません。NEETの増加、やる気も意欲も失いがちに犯罪や逃避に走る都会の若者

達の姿をみるにつけ、こうした若者に行政や地域が本当に手を差し伸べ、一緒に地域における活動を担ってほしいと願っております。こんな状況だからこそ、若者達が自分たちの未来を創造するために集い、語り学びあうことは、私たちの遊佐町の未来にとってとても重要なことだと考えております。

特に、皆さんが取り組んだ「Café la おーたむ」のショップの開店については、多くの町民がみなさんに拍手をおくりました。

また、第2期のみなさんから、たくさんの政策提言をいただきました。

その一部については、今回の事業の中で実現したものもありますが、残された課題については、引き続き真摯に受け止めその実現のために、全力をあげて行きたいと考えております。

これからも、自らの生活課題や、地域課題を解決していく努力への熱意に支援を惜しまず、次代を担うのは当然、しかし現代だって担っているはずの若者達の活躍を見守っていきたくて考えております。

第2期の少年町長・少年議員の活動の成果や想いが、続く第3期のみなさんにつながるように願いながらお礼いたします。

# 遊佐町少年町長活動経過報告

概要	期日(平成16年)	場所等	備考
少年町長・少年議員の候補者募集	広報ゆざ 5月1日号		HP開設
遊佐中学校・各高校生徒への説明会	5月6日(木)～13日(木)	各学校	各学校
立候補者受付期間(告示)	5月13日～5月17日	遊佐町少年町長・議員公選事業事務局	立候補者募集開始 定数少年町長1少年議員10名 立候補の抱負を一緒に提出する。
立候補者告示	5月17日		
選挙広報・投票用紙送付(管外高校生)	5月21日	管外各高等学校郵送	
選挙広報送付(管内高校生)	5月24日	遊佐中学校・管内高校	
少年町長・少年議員選挙投票	5月26日(水)～5月30日(日)	遊佐町中央公民館・町立図書館・遊佐駅・吹浦駅・各学校	遊佐中学校・各高等学校毎に投票日を設定し投票所を開設する。投票所に投票用紙を持参し投票管理を行う。(担当職員)
開票	5月30日	遊佐町中央公民館	
平成16年度遊佐町少年町長・少年議員当選証書等交付式	5月30日	遊佐町中央公民館	当選証書・議員バッジ交付
第1回少年議会	5月30日	遊佐町中央公民館	抱負の発表・第1期町長・議員との話し合い
第2回少年議会	6月10日	町役場議事所	今後の活動方法とスケジュールについて 少年議長・副議長の選任
第3回少年議会	6月26日	町役場議事所・町内各施設	町内巡り 町長・議員の政策カード・政策課題現場調査
第4回少年議会	7月10日	町役場2階202会議室	政策提言まとめ・盆踊り練習・フリーマーケット打ち合わせ第
姉妹都市・友好都市協定締結式	8月1日	遊佐町中央公民館	スタッフとして参加
合併50周年記念式典	8月1日	遊佐町中央公民館	スタッフとして参加
第5回少年議会	8月6日	町役場議事所	有権者の意見集約ワークショップ 政策提言まとめ
ワークショップ・盆踊り打ち合わせ	8月10日	町役場2階202会議室	政策提言まとめ・盆踊り練習・フリーマーケット打ち合わせ
第35回町民盆踊り大会への参加	8月14日	第35回町民盆踊り大会会場	フリーマーケットの開催 盆踊りへの参加
第6回少年議会	8月21日	町役場議事所	政策提言・有権者の意見発表
第7回少年議会	8月31日(土)	町役場2階202会議室	(1)政策予算75万円の使用方法について (2)鳥海ソーデーマーチへの参加について
第12回鳥海ソーデーマーチアピール	9月4日～5日(土・日)	遊佐町町民体育館前広場	全国からのお客さんに出発のエールを送る。
第8回少年議会	9月4日(土)	町役場議事所	政策予算75万円の使用方法について 2
第9回少年議会	9月12日(日)	町役場2階202会議室	政策予算75万円の使用方法について 3
第10回少年議会	9月23日(木)	町役場議事所	政策予算75万円の使用方法について 4 (各担当班に分かれての話し合い)
第11回少年議会	9月29日(水)	町役場議事所	(1)政策予算75万円の使用方法について5 (各担当班に分かれての話し合い) (2)神鹿角切祭への参加について
第27回神鹿角切祭	10月11日(月)	大平山荘	角切りイベント・ボランティア参加
空き店舗内部片付け	10月11日(月)	旧藤崎薬局(五日町)	商店開店予定の空き店舗内部の片付け
ふるさとCM大賞用CM撮影	10月11日(月)	町役場議事所	少年議会風景撮影
商店準備	10月16日(土)	旧藤崎薬局(五日町)	備品の運び込みと店内の飾りつけ
少年町長・少年議員の店「Café la おーたむ」オープン	10月17日(日) ※毎週土日開店	旧藤崎薬局(五日町)	遊佐町特産品と軽食の販売
「遊佐町イメージキャラクター」選考会	10月25日(月)	町役場議事所	少年町長・少年議員が選考
「遊佐町イメージキャラクター」受賞者表彰式	11月3日(水)	町役場議事所	受賞者の表彰
第12回少年議会	11月23日(火)	町役場議事所	政策予算75万円の施行計画の発表
音楽イベント「遊佐ROCK 2nd」開催	12月5日(日)	遊佐町中央公民館	中高校生ロックバンド4組による演奏
西山地区内森林整備ボランティアへの参加及び松の植林	12月25日(土)	鳥海学園隣県学習林	佐藤豊昭さん宅敷地内 一般・西遊佐小学校生徒との整備活動と松苗の植林(約200本)
少年町長・少年議員の店「Café la おーたむ」閉店	12月25日(土)	旧藤崎薬局(五日町)	pm12:00まで営業後、閉店セレモニー。午後より店内片付け
第13回少年議会(最終議会)	12月26日(日)	町役場議事所	今期活動の感想と活動をとおして考えた町への提言の発表。
平成16年度遊佐町少年町長・少年議会解散パーティー	12月26日(日)	遊佐町中央公民館	全ての関係者ととも今期活動を振り返る。

# 平成16年度 遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項

## 1. 名称 遊佐町少年町長・少年議員公選事業

## 2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきた。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えている。青年たちが自分たちのすむまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生する。そして、地域の中で若者たちが、生活者として認識され、若者たちの居場所と、出番が地域の中に見えてくる。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生しよう。

## 3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。21世紀をむかえ、私たちの前には地球的規模での環境の悪化、エネルギー、食糧、人口問題、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのもの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。

こうした状況をふまえて、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行おうとするものです。

## 4. 事業のねらい

- (1)若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会のシステムを学ぶ。
- (2)中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3)この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を相互に学ぶ場としたい。(相互教育)

## 5. 少年町長・少年議会の構成対象者

遊佐町在住の中高校生及び遊佐高等学校生徒  
構成者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。  
また、少年議会では、自らの政策立案と少年町長の議案審議権を有する。

## 6. 構成員

- (1)少年町長(1名) 構成対象者のうち少年町長に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (2)少年議員(10名) 構成対象者のうち少年議員に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (3)少年助役(若干名) 構成対象者のうち少年町長・少年議員に立候補した者の中から町長が委嘱する者
- (4)少年監査委員(若干名) 構成対象者のうち少年町長・少年議員に立候補した者の中から町長が委嘱する者
- (5)少年議会事務局長・次長(若干名) 構成対象者のうち少年町長・少年議員に立候補した者の中から町長が委嘱する者

### 7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業のすべての構成者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

### 8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び副議長を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。  
併せて、少年議会の場で自ら少年政策立案を行うことができる。

### 9. 事業期間 平成16年5月～12月(第2期)

### 10. 事業スケジュール

平成16年 4月	第2期プロジェクトチームの立ち上げ(遊佐町役場内)
平成16年 4月	各高校への協力お願いと生徒への趣旨説明
平成16年 4月	立候補者対策
平成16年 5月	少年町長及び少年議会議員立候補受付・立候補者チラシ作成
平成16年 5月	全構成者による直接選挙
平成16年 5月	当選証書の交付及び事業説明
平成16年 5月	第1回少年議会
平成16年6～7月	政策討議
平成16年 8月	第6回少年議会
平成16年 8月	遊佐町長への予算要求
平成16年 9月～	予算執行(事業の実施)
平成16年12月	末日、任期満了

### 11. 留意点

#### (1) 町外に通学する高校生等への周知方法

- ・専用HP及びメールアドレスを作成する。
- ・ダイレクトメールを併用する。
- ・各高等学校へ出向き、学校側に趣旨を説明するとともに、当該生徒を集めて説明会を開催し投票開票への協力を依頼する。

対象校	対象	学校訪問日	生徒説明日	参加人数	投票日	投票人数
酒田東高校	71	4月26日	2004/5/12 3時50分	43	2004/5/26 3時50分～	49
酒田西高校	79	4月26日	2004/5/13 1時5分	60	2004/5/27 1時5分～	65
酒田北高校	29	4月26日	2004/5/12 1時	10	2004/5/26 1時～	18
酒田商業高校	82	4月26日	2004/5/12 0時15分	78	2004/5/26 12時30分～1時10分	49
酒田工業高校	100	4月26日	2004/5/11 3時30分	40	2004/5/26 3時～	47
酒田中央高校	94	4月26日	2004/5/6 0時10分	87	2004/5/26 12時30分～1時10分	88
酒田南高校	41	4月26日	2004/5/11 1時	39	2004/5/26 12時50分～1時20分	26
天真学園高校	8	4月27日	2004/5/7 3時50分	6	2004/5/27 3時50分～	5
遊佐高校	157	4月23日	なし(本間教諭による校内説明) 5月14日11時50分～	140	2004/5/28 2時30分(6時限目)	138
遊佐中学校	563	4月23日	2004/5/10 8時20分 (8時15分より生徒集合)	551	2004/5/26 3時50分～4時10分	549
鳥海学園	5	なし	(電話にて担当職員に説明)		2004/5/27 2時～2時10分	4

- ・各高校長あて協力依頼文書を作成送付、担当プロジェクトが説明に出向く
- ・対象者用チラシを作成する。

#### (2) 町民への周知方法

- ・専用HPの他、広報を活用する。

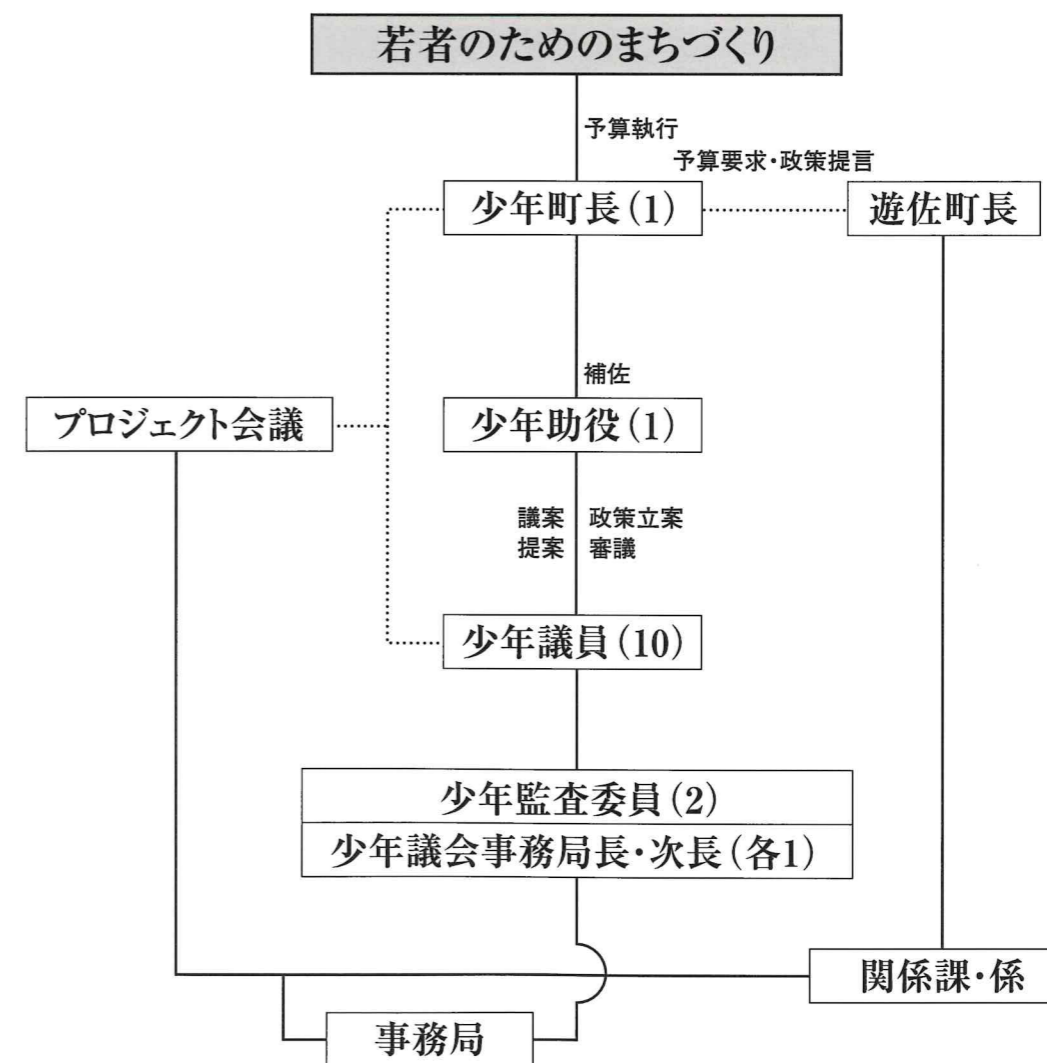
#### (3) 選挙管理の方法

- ・遊佐中学校生徒
  - ・遊佐高等学校生徒
  - ・酒田市内高校生
  - ・酒田市外高校生
  - ・開票等
- 各学校毎に投票日を定め、担当プロジェクトが出向き行う。  
(当日欠席者は酒田市外高校生と同様の方法)  
遊佐駅、吹浦駅、遊佐町中央公民館、遊佐町立図書館に依頼する。  
第1期少年町長・少年議員が担当した。

#### (4) 予算

- ・政策予算—全期間を通じて750,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。

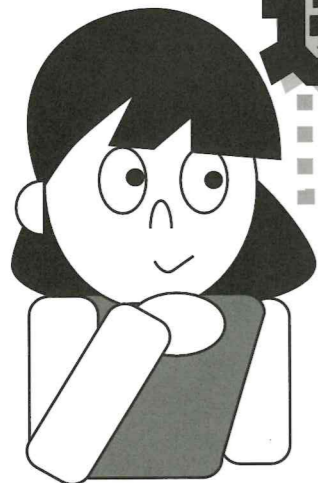
### 遊佐町少年町長・少年議員公選事業構造図



Youth President's Election 2004  
in YUZA

選ぶ

明日の遊佐町に  
ぼくたちはわたしたちは  
提案します



討議しよう  
実現しよう

1 第2期少年町長と第2期少年議員の立候補者を募集します。

遊佐町では、中学生、高校生（遊佐町在住・在学）の中から「少年町長」と「少年議員」を直接選挙で選び少年議会を開催します。この人々は、全有権者（遊佐町に住む中学生、高校生と遊佐町に通学する高校生）の直接選挙で選ばれます。

立候補者受付期間 平成16年5月13日(木)～17日(月)

立候補用紙による届け出にて受け付けます。ふるって立候補ください。

公選で選ぶ人 (1)少年町長 1人 (2)少年議員10人

2 中学生、高校生が遊佐のまちづくりについて議論します。

少年町長と少年議員は、遊佐町の若者の代表として、遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていただきます。

議会の開会

(1)中学生、高校生の意見を政策にするために、議会を開会します。少年町長は議会に自分の政策提案します。  
(2)少年議員は、少年町長の提案を審議し、自分の意見を発言します。

3 町では、中学生、高校生の政策を尊重し、その実現を図ります。

遊佐町では「中学生、高校生の政策」を尊重しその実現を図ります。少年町長と少年議員は、自分たちの決めた政策を実現します。

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

受付  
遊佐町役場  
総務企画課

少年町長・少年議員立候補届

少年町長、少年議員に立候補します。(○をつける)

氏名	
住所	
TEL ( )	
学校名	学年

以上のとおり立候補します

立候補の抱負

問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・議員公選事業事務局  
遊佐町役場総務企画課企画係 (担当 村井 仁・土門良則・本間裕行)  
〒999-8301 遊佐町大字遊佐町舞鶴211 TEL.0234-72-3311  
(e-mail) [kikaku@town.yuza.yamagata.jp](mailto:kikaku@town.yuza.yamagata.jp)

届け出は ▶ FAX.0234-72-3310

遊佐町少年町長・少年議員投票用紙

1 遊佐町少年町長立候補者 (定数一名)

あなたが、少年町長としてふさわしいと思う人に一人だけ○をつけてください。  
※二人以上に○をつけたり×などを記入すると無効票となりますので、注意してください。

○をつける欄	候補者氏名	性別	地区	所	属
	池田 裕紀	男	遊佐	遊佐高3年	
	赤塚 緑	女	吹浦	酒田中央高3年	

2 遊佐町少年議員立候補者 (定数十名)

あなたが、少年議員としてふさわしいと思う人に一人だけ○をつけてください。  
※二人以上に○をつけたり×などを記入すると無効票となりますので、注意してください。

○欄	候補者	性別	所	属
	伊藤 彩夏	女	天真学園高3年	
	小田原 茜	女	遊佐中2年	
	庄司 真希	女	酒田中央高3年	
	遠田 一行	男	酒田南高1年	
	黒島龍之助	男	酒田北高1年	
	中島 ゆき	女	遊佐高2年	
	佐藤 永里	女	酒田西高3年	
○欄	候補者	性別	所	属
	土門加代子	女	遊佐高2年	
	佐藤 翔大	男	遊佐中3年	
	佐藤 優希	女	遊佐高2年	
	遠田美由紀	女	遊佐中3年	
	堀美香	女	遊佐高2年	
	佐藤 里沙	女	遊佐中3年	
	狩野 未来	女	酒田商業3年	

1 遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんの意見をおよせください。少年町長・少年議員に当選するみなさんに、あなたの意見を届けましょう。

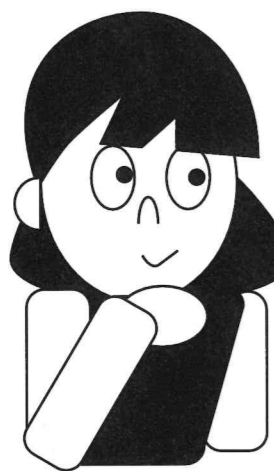
1 あなたは、これからの遊佐町がどんな町になってほしいとねがっていますか。自由に記入ください。

2 あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいですか。自由に記入ください。

ご意見ありがとうございました。

遊佐町少年町長・少年議員選挙投票のお知らせ  
○投票日 平成16年5月26日(三)日(午後二時まで)  
○投票場所 遊佐町中央公民館・遊佐町立図書館・遊佐駅・吹浦駅  
その他、各高等学校や中学校でも投票できます。学校によっては投票所を設置していない高校もありますので、その場合は、前記の場所ですべてに投票してください。

Youth President's Election 2004 in YUZA



# 選挙公報

明日の遊佐町に  
ぼくたちは  
わたしたちは  
提案します

立候補者はどんな人、どんな夢をもっている人かを参考にして選んで下さい。

遊佐町少年町長・少年議員公選投票のお知らせ

- 投票日 5月26日(水)～30日(日) [午後2時まで]
- 投票場所 遊佐町中央公民館・遊佐町立図書館・遊佐駅・吹浦駅  
その他、各高等学校や中学校でも投票できます。学校によっては投票所を設置していない高校もありますので、その場合は、上記の場所ですべてに投票してください。

## 遊佐町少年町長立候補者



県立遊佐高等学校3年 (地区●遊佐)

いけだ ゆうき

### 池田 裕紀

合併しても、皆の心の中に遊佐町があり続けるように、もっと住みよい町にしたいと思ったので立候補しました。去年は、少年助役として活動して、中高生校生の意見を町に届けることができました。今年は去年残った課題や、新しい議員の意見をまとめて、若者達にとって楽しく住みやすい町をつくっていきたくと考えています。また、去年の政策予算で買ったフットサルゴールを活用していきたいと思っています。



市立酒田中央高等学校3年 (地区●吹浦)

あかつか ゆかり

### 赤塚 縁

昨年、少年議員をやってみて、できなかったこととか、反省点がいくつかあったと思います。今年はそれを実現させたいです。そして、遊佐町をもっと「人と人とのつながりが強くて、人が人にやさしい町」にしたいです。たとえば、遊佐町で行われているイベントに自分自身が参加して、結構楽しいものが多かったの、関心がなかった人に来てもらうよう呼びかけたり、中高生から見た不便なところがまだまだあると思うので、直していければと思います。

※少年議員立候補者は裏面をご覧ください。

選挙公報

○遊佐町少年町長・議員公選事業事務局○遊佐町役場総務企画課企画係 (担当/村井 仁・土門良則・本間裕行)  
〒999-8301 遊佐町大字遊佐町字舞鶴211 TEL.0234-72-3311  
専用URL <http://www.town.yuza.yamagata.jp/i> (iモード対応)  
e-mail [youth@town.yuza.yamagata.jp](mailto:youth@town.yuza.yamagata.jp)

## 遊佐町少年議員



私立天真学園高等学校3年 (地区●遊佐)

### 伊藤 彩夏

私は、来年東京に行くので、遊佐に居れる最後の年に、何か楽しい企画をしてみたいと思立候補しました。学校で言う「文化祭」のような、いろんな出し物などをやるお祭りや、遊佐町だけで放送される「ケーブルテレビ」などを企画したいと思っています。VMCのような音楽番組を放映したいです。



県立酒田北高等学校1年 (地区●福川)

### 黒島 龍之助

「ふるさと」としての遊佐町を創る手伝いをしたい。



町立遊佐中学校3年 (地区●遊佐)

### 佐藤 翔大

今の子供達は、勉強や部活動で忙しく地域の人と行事などコミュニケーションをあまりとっていません。これからは、今以上に地域の人達と一緒にコミュニケーションや行事とおしてまだ知らない遊佐町を知ってほしいです。



町立遊佐中学校3年 (地区●遊佐)

### 佐藤 里沙

遊佐町にはいい所がたくさんあります。そのいい所をもっと活発にしていきたいと思っています。そして、新しく観光の場を増やし、町のみんなが明るく生活できる町にしていきたいと思っています。



県立遊佐高等学校2年 (地区●西遊佐)

### 土門 加代子

遊佐ライフをもっとより良く、満喫したいと思立候補しました！



町立遊佐中学校2年 (地区●高瀬)

### 小田原 茜

最年少かもしれませんがちゃんと自分の考えを持ち、何処かでその考えを発揮できたらいいな、と思っています。



県立遊佐高等学校2年 (地区●酒田)

### 中島 ゆき

遊佐町がもっともっと良くなる様にいろいろ話し合いたいです



県立遊佐高等学校2年 (地区●遊佐)

### 堀 美香

去年の活動で、ゆうすいに桜の木を植えているのをテレビで見て、私も遊佐町の環境にいいことをしてみたいと思いました。



市立酒田中央高等学校3年 (地区●東岡)

### 庄司 真希

私が少年議員に立候補したのは、もっと遊佐町を知り、明るく活発な遊佐町にしたいと思ったからです。もし私が議員になったら、もっとみんなが遊佐町を好きになれる楽しいイベントをやりたいと思っています。



県立酒田西高等学校3年 (地区●遊佐)

### 佐藤 永里

テレビや広報などで第一期生が「ゆうすい」を訪問したりしているのを見て、私も一緒に活動したくなりました。遊佐町を好きになる人が増えるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。



町立遊佐中学校3年 (地区●西遊佐)

### 遠田 美由紀

立候補するにあたって、私は遊佐町を次のようなものにしていきます。1. みんなが安心、安全でいられる町、2. 全国に通用する町、3. あたかさがあある町、です。遊佐をもっと活気ある町にするためにがんばります。



私立酒田南高等学校1年 (地区●西遊佐)

### 遠田 一行

音楽の祭典遊佐ロックをもう一度！！そして、中高生の意見を町内の人に知ってもらいたい。



県立酒田商業高等学校3年 (地区●高瀬)

### 狩野 未来

昨年、少年議員という活動を行って、自分がどれだけ遊佐町を知らなかったかということを知りました。その反省の上に立って、今度はもっと中高生の意見を、政策に反映させていきたいと思っています。そして、みんなで特色ある遊佐の伝統行事に参加して行きたいです。



県立遊佐高等学校2年 (地区●酒田)

### 佐藤 優希

遊佐町の人々がよりよくなるように自分の力を最後までふりしぼってがんばりたいです。



県立遊佐高等学校2年 (地区●遊佐)

### 堀 美香

去年の活動で、ゆうすいに桜の木を植えているのをテレビで見て、私も遊佐町の環境にいいことをしてみたいと思いました。

# 開票風景



●選挙長は第1期少年町長 後藤 丞君



●選挙立会人は第1期少年議員時田彩乃・富樫結花さん



●準備完了



●第1期少年議会・プロジェクト担当職員での開票作業



●いよいよ開票



●開票がすすむ

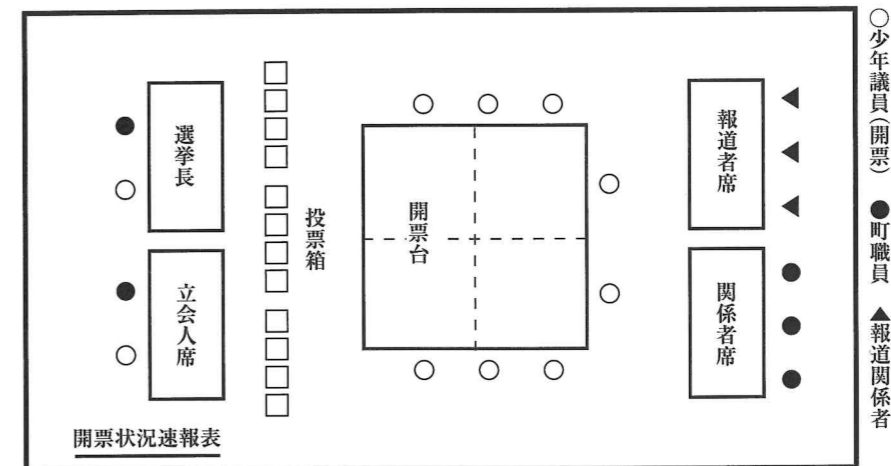


●開票結果を待つ立候補者達



●不安な顔

# 開票図面 / 開票結果



## 第2期遊佐町少年町長選挙開票結果

○選挙長 後藤 丞  
○選挙立会人 時田彩乃・富樫結花

届出受理番号	氏名	得票数	当選順位	性別	所属名	学年	地区	役職
2	赤塚 縁	554票	当選	女	市立酒田中央高等学校	3	吹浦	少年町長
1	池田 裕紀	466票	次点	男	県立遊佐高等学校	3	遊佐	少年助役
有効得票数		1,020票		無効得票数		19票		
投票者総数		1,039票		開票率		100%		
当日有権者数		1,287人		投票率		80.73%		

## 第2期遊佐町少年議員選挙開票結果

届出受理番号	氏名	得票数	当選順位	性別	所属名	学年	地区	役職
1	伊藤 彩夏	136票	当選	女	私立天真学園高等学校	3	遊佐	少年議員
2	庄司 真希	134票	当選	女	市立酒田中央高等学校	3	蔵岡	少年議員
4	佐藤 永里	102票	当選	女	県立酒田西高等学校	3	遊佐	少年議員
9	遠田 一行	102票	当選	男	私立酒田南高等学校	1	西遊佐	少年議員
5	佐藤 翔大	97票	当選	男	町立遊佐中学校	3	遊佐	少年議員
3	黒島 龍之助	88票	当選	男	県立酒田北高等学校	1	稲川	少年議員
6	遠田 美由紀	87票	当選	女	町立遊佐中学校	3	西遊佐	少年議員
14	狩野 未来	82票	当選	女	県立酒田商業高等学校	3	高瀬	少年議員
11	土門 加代子	50票	当選	女	県立遊佐高等学校	2	西遊佐	少年議員
7	佐藤 里沙	48票	当選	女	町立遊佐中学校	3	遊佐	少年議員
8	小田原 茜	28票	次点	女	町立遊佐中学校	2	高瀬	少年監査委員
12	佐藤 優希	25票	—	女	県立遊佐高等学校	2	酒田	少年監査委員
10	中島 ゆき	13票	—	女	県立遊佐高等学校	2	酒田	少年議会事務局長
13	堀 美香	9票	—	女	県立遊佐高等学校	2	遊佐	少年議会事務局次長

有効得票数		1,001票		無効得票数		37票		
投票者総数		1,038票		開票率		100%		
当日有権者数		1,287人		投票率		80.65%		

# 有権者(中高生)の提案と政策(抜粋)

投票用紙にまちづくりのための中高生の意見を自由に記入していただきました。その一部を掲載します。

## 少年町長・少年議員への要望

- 自分が思っていることをすべて任期の間に出してもらいたい。
- いろんな施設などに行って、いろんな人とふれあってもらいたい。
- 昨年からはじめて、反省点があると思うので昨年よりもよい町にしてほしい。
- 少年達の意見を実現してください。
- 初代でできなかったこと、新しく第2期の人達ができること、何でも挑戦してみてください。初代議員の一員として応援しています。がんばってください。
- 自分の意見をしっかりとってそれを実現させてほしい。
- 何かをつくってもらいたい。
- 少年議員の人達が将来の遊佐をひっぱってくれればと思います。
- 少年町長には是非クリエイティブな意見を出してもらいたい。
- 前回実現できなかった事や新しい事など、やりたい事いっぱいあればいいと思います。
- 自分が出来ることを精一杯がんばってほしいです。
- いろいろ行動できる少年町長・少年議員になって、活気あふれるようにしてほしい。
- 私達が思っていること、考えていることをすくいって遊佐町に反映させてほしい。
- 自分の意見をもって発言できればいいと思う。いろいろな行事を行ってほしい。
- 若い人達の意見を、どんどん出してほしい。
- 費用をおさえてできることをやってほしい。
- 有言実行!公約を実現して欲しい。
- いろいろな事をたくさん企画して、遊佐町を盛り上げてほしい。
- 町民の希望に精一杯こたえてほしい。
- 大人にとって気付きにくいところを出して、遊佐町をもっといい町にしてほしい。
- 私達中学・高校生の意見をもっと活かしてほしい。
- 前回の人達は何をしているのかよくわからなかったのもっと目立ってほしい。
- 町の行事や地域活動をしっかりと行ってほしい。
- 自分たちの町を知り、自分たちの町に誇りを持ってほしいと思います。
- 今までやらなかったことをしてほしい。
- 遊佐町をよりよい方向へ引っぱってほしいです。
- 予算の無駄使いをしないで欲しい。
- みんなが喜ぶすばらしい案を出してほしいと思っています。
- 自分が思う正しい事をしてほしいです。
- 選ばれた以上は、自分の力を全て注ぎこんで、遊佐町を良くしてほしい。
- 私達と年齢は一緒なので、私達の気持ちなどをふまえて色々な事をやってほしい。
- 地元をよい町にするため、代表者としてがんばってほしい。
- 町に中高生の意見をたくさん発表してほしいです。
- 遊佐町のいいところを伸ばすような活動をしてほしい。
- もっと活動内容を明確に記して、どういう活動をしているのか知らせてほしい。
- 私達中高生の目に見える活動をしてほしい。(去年、どんな活動をしているのかぜんぜんわからなかったから)
- 去年は目に見えるような活動がなかった気がするので今年ががんばってほしい。
- 小学校・中学校での政治への興味・関心を持たせるような努力をしてほしいです。
- 合併問題について意見を述べて欲しい。
- 合気が良い、実行力があり、皆を引っ張っていける人が最適だと思うので、まずは気軽に相談できる人になってほしいです。そして、町のゴミやそういったことなど少しずつ解決して言って、とにかく町全体を明るくしてほしいと思います。

## 安全で平和な遊佐町にしたい

- 安全で事故などおきない町にしてほしい。
- 今よりももっと安心安全な遊佐町にしてほしい。
- 下校・部活帰りに安心できるように、暗い所に街灯をつけて欲しい。
- 西山地区に街灯がなく危険なのでつけてほしい。
- 炭岡から遊佐に通じる田んぼの街灯が少なすぎる。
- 旭ヶ丘の通りに街灯が欲しい。
- 大楯の田んぼの所に街灯をつけて欲しい。
- 通学路に風よけをつけて欲しい。
- カーブミラーが足りないと思う。
- 街中の交差点で危ないところがある。カーブミラーをつけて欲しい。
- お年寄りも安心して暮らせる町にして欲しい。
- 交通安全をもっと徹底して欲しい。
- 今の遊佐町の平和を維持して欲しい。
- これからも事件のない遊佐町であって欲しい。
- 暴力のない町にして欲しい。
- けんかやイジメのない町づくりをして欲しい。
- イジメのない町にしてほしい。イジメをなくして欲しい。
- 平和で、庄内一平和な町にしてほしい。
- 歩行者優先等の看板を設置して交通事故を防止してほしい。
- 歩道をきちんと整備してほしい。
- 動物も住み良く、捨て猫、捨て犬をなくしてほしい。

## 福祉の充実した遊佐町にしたい

- ボランティアが盛んな町にしてほしい。
- 公共サービスをもっとわかりやすくしてほしい。
- 子どもからお年寄りまで楽しく生活できる町にしてほしい。
- 障害者も安心して過ごせる町にしてほしい。
- 募金活動やボランティア活動を活性化してほしい。
- 施設のバリアフリー化をすすめてほしい。
- バリアフリーをもっと増やしてほしい。
- 体の不自由な方も安心して生活できるように整備してほしい。
- みんなで声をかけあって、若者にも高齢者にも優しい町にしてほしい。
- 高齢者の老人ホームの受け入れを多くしてほしい。
- 町民の意見を取り入れる「意見箱」のようなものを作ってほしい

## 自然があふれきれいな遊佐町にしたい

- 自然がたくさんあって笑顔がたえない町にしてほしい。
- 山形県で一番自然あふれて町の人みんな仲よくしている町になってほしい。
- 川や道にゴミが一つも落ちていない(捨てない)町になってほしい。
- 自然と共存できるような町づくり。
- 木を切らないでほしい。
- 遊佐町民のモラルUP! クリーン作戦。
- 花や緑を色とりどりにもっと多く増やす。
- 山、川、海にゴミがなく、今の自然を守ってほしい。
- 緑を増やすよう、植樹をしてほしい。
- 松くい虫の影響で松がどんどん枯れている。松の植樹をしてほしい。
- 昔から田んぼを守ってきた松林がなくならないようにしてほしい。
- ゴミのポイ捨てをなくしてほしい。
- ゴミ拾い活動をもっと行ってほしい。
- 海岸清掃のボランティアをしたらどうか。
- 山も海もあるのだから、もっと清掃できれいに、人がもっとあつまる町にしてほしい。
- このまま緑の町で。都会的にしないで下さい。
- いろいろな人との交流や、自然に親しむ活動などを実現してほしい。
- 自然あふれる懐かしさの残る町になってほしい。V I V A遊佐!
- 今の自然を保ち、もっと人と人のかかわり方が良くなるような町になってほしい。
- 自然を残しつつも、設備をよくする。
- 煙草のポイ捨て禁止。
- 鳥海山や海をもっとアピールして、人が集まるようにしてほしい。

## 活気があって人がたくさん集まる遊佐町にしたい

- どの年代の人々もいきいきできるような町になってほしい。
- みんなが住みやすく、どんな年齢の人でも、遊佐が好きになるような町。
- 年齢問わず、皆が仲の良い町。
- お祭りなどがあり、町内みんなが楽しめる町にしたい。
- 中心と町端が身近に感じられるような町になってほしい。
- 若者が集まるような町
- 遊佐町他の町の人でも「遊佐町」を知ってくれていて、こういうところがいいんだよと、遊佐町民全員が言えるような町になってほしい。
- 人の温かさが感じられる町。一度きいたら忘れられない町。
- 遊佐町は「暗い」というイメージがあるので、もう少し賑やかで派手な町にしてほしい。
- 都会からでも人がたくさんくる町。やさしい町(おもいやりのある町)。
- もっと楽しく、遊佐町みんなが家族みたいに仲よくできたらいいと思う。音楽性のあるリズムな町。
- 楽しくて明るい町、他の市町村の人に自慢できる町。
- 他市町村の人に「遊佐町が自分の町」と言えるような町づくり。
- 町の中が少し寂しい。店をつくってほしい。
- 町の商店街が寂しい。もっと中心商店街を活性化してほしい。
- 商店がつぶれつつあるので、もっと活性化してほしいと思う。
- 店が増えて、活発で明るい町にしてほしい。いろんな店がある町。
- 遊佐町をもっと有名にしてほしい。もっと遊佐町の名所をアピールしてほしい。
- 他の県からも人がたくさん来るように、アピールしてほしい。
- ツーデーマーチや町内のお祭をもっと知ってもらえるようにしてほしい。
- 町民のイベントを知らないひともいる。まずは、町民から知ってもらうようにすればいいのでは。
- 遊佐町には観光資源がたくさんある。観光に来てもらうよう、もっと工夫すべきだ。
- 今より若い人がたくさん集まるようなイベントをしてほしい。
- 町民が、常に町のことについて何か取り組める活動を行ってほしい。
- いろいろな人との交流の場を開く。誰でも気軽に参加できる行事をつくる。
- 去年のような音楽イベントをしてほしい。遊佐ロックをもう一度!
- 誰でも参加できるイベントをしてほしい。そして、それをちゃんと皆に知らせてほしい。
- コンビニをつくってほしい。(山、白井地区、下藤崎、西遊佐地区)
- 遊佐町のイメージキャラクターをつくってほしい。
- 財政状態の安定した町にしてほしい。豊かにしてほしい



# 政策提言

# 1

【有権者が望む政策・私の政策】

平成16年8月21日●  
第6回少年議会

## 施設が充実した遊佐町にしたい

- 歴史や文化を大切に、それにプラスアルファして、新たな遊佐を作ってもらいたい。
- 古き良き時代の文化と新しさが両方あるよい町になってほしい。
- 大型デパートがある町。
- 電話回線を高速化してほしい。
- プールや、テニスなどのストリートコートをつくってほしい。
- 鳥海山や海、川などのキャンプ場を整備してほしい。
- スケボーが出来る所をつくってほしい。
- 学校を大きく、楽しくしてほしい。
- 若い人や子どもが自由に使えて遊べる施設がほしい。
- もっともっと都市のように発展してほしい。
- 野外ステージやスケボーパークのある、若い人の憩いの場所をつくってほしい。
- スケボーパークをつくって、BMXの練習場にもなる。
- もっと大人も子どももスポーツができる場所がほしい。室内コートもほしい。
- バスケットコートがもっとほしい。ナイター設備もつけてほしい。
- 緑に囲まれ、みんながくつろげる公園を町中につくってほしい。
- 誰でも気軽に使える公共のものを整備してほしい

## 遊佐駅をきれいにしてほしい

- 駅が寂しいので、華やかにしてほしい。
- 駅のトイレが汚く利用しにくい場所にある。新しくしてほしい。
- 観光客がもっと来るように遊佐駅、吹浦駅を新築してほしい。
- 電車の便数が少ない。朝と夜の便数を増やしてほしい。
- 乗り過ごす待ち時間が長い。便数を増やしてほしい。

## あいさつあふれる明るい遊佐町にしたい

- 明るくあいさつの絶えない町にしたい。
- どんな人とも仲良くなれる町。
- 人の温かさが感じられる町。一度きたら忘れられない町。
- とても楽しく、みんながみんなにやさしい町。
- 人と人が気軽にあいさつできたりする町になってほしいです。
- これからは、とても人と人との関わりが深まる町にしたいです。
- どんな人でもコミュニケーションできる町にしてほしい。
- 交流をとおして遊佐町に来る人が来てよかったと思える町
- 心やさしい人がたくさんいる町
- 遊佐町の人も他の町の人も、みんなが楽しくて「いい町だな」と思える町になったらと思う。
- ふれあいのある町
- みんなが誰とでも会話できるような町になってほしい。
- 楽しくて生き生きとしている町。お年寄も若い人も元気に過ごせる町。
- 楽しさとやさしさであふれている町にしたい。決して悪い人がいないような町にしたい。
- 大人も子供も関係なく協力し合う町
- 他の町との交流を多くしてほしい。
- 明るく、幅広い年齢のかたがたと交流できるような町
- たくさんの人と話せるようにしてほしい。
- あいさつ運動をしたらどうか。
- 遊佐町を明るく、親切な人がたくさんいてお互い助け合う町にしてほしい。
- 誰とでもあいさつができ、差別のない町

## 国際交流をさかんにしてほしい

- 国際的な町にしてほしい。
- 外国人と国際交流をして、活発な町にしてほしい。
- 海外への募金活動をさかんにしてほしい。

## 市町村合併について一言

- 市町村合併しないでほしい。遊佐町らしさがなくなる。
- 市町村合併をして何がどうかわるのか、はっきり教えてほしい。
- 合併して遊佐町はよくなっていくのか。伝統や行事はなくなるのか不安。
- 合併しないと遊佐町が寂しいところになるのでは。
- 合併するべき。より町が大きくなる。
- 遊佐町らしさを残しながら合併すればいいと思う

少年町長

## 赤塚 縁



私は今回少年町長になった赤塚縁です。私が町長として実現したいことは、新しいイベントをすることです。

私は7月4日に行われた「ゆざこいソーラン祭」を見に行きとても感動しました。あのような住民の意見を基にした新しいイベントを行うというのは、とても良いことだと思います。このように、地域の人に意見を募ったりして、自分たちで話し合い、新しい試みをどんどんしていきたいです。そしてそれを地域に根づかせ、町の重要なアピールポイントとしていきたいです。

次に、私は有権者から多数寄せられた意見の中でも、「遊佐町をもっと有名な町にしたい」という意見についての取りまとめを行いました。

その中でも、「もっと遊佐の名所をアピールして欲しい」「他の県からも人がたくさん来て欲しい」というような意見が多くありました。

遊佐町には、例えばツーデーマーチのような、全国から人が集まる行事や観光資源がたくさんあります。例えば、鳥海山、胴腹滝等の名所です。そして豊かな自然と、それによる水、米、岩ガキといった素晴らしい恵みがあります。

しかし、寄せられた意見を見てみると、遊佐町にはこのような良い面がたくさんあるのに、それをしっかり県外にもアピールできていないのではないかと感じている人が多いようです。

私自身昨年議員として活動してきて、遊佐町について知らない場所やイベント等がたくさんありました。ただ単にあまり興味がなかった、というのかもしれないかもしれませんが、何より目につくような情報を提供している場所や、強いアピールがあまりなかった、という点もあるのではないのでしょうか。県外に有名になる前に、まず遊佐町に住んでいる私達自身がこの町で行われていることを知らなければ、他県の人に自分の町の良い所をアピールすることもできないのではないのでしょうか。遊佐町の中心部に住んでいる人達なら、自然と情報は入ってくるかもしれませんが、そうでない人達は情報を受け取る手段があまりありません。そういった地域にも、掲示板を作ったり、読み手が興味を抱くようなチラシを作る等、情報提供の手段をもっと増やして欲しいです。そのことが、遊佐町を県外にも有名にする第一歩だと思います。

また、その他の意見として、「町に住んでいる人や訪れた人に定期的に意見をもらって欲しい」というものもありました。私はこれはとても良い意見だと思います。例えば町のどこかに目安箱のようなものを設置し、意見を出してもらってはいかがでしょうか。そうすることによって、もっと町と住民が密接に関わり合うことができるようになると思います。

それから、「ふるさとCM大賞で、もっと面白いCMを作って欲しい」という意見もありました。これは確かに全国へアピールする良いチャンスだと思います。私も前回の遊佐町の作品を見て、少し呆然としてしまったので、今年はぜひ力作を期待しています。以上で終わりです。

少年助役

## 池田 裕紀



私は、少年助役の池田裕紀です。私が、少年助役になったのは、遊佐町に住むすべての人が、住みよい町・楽しいと思える町にしていきたいと思ったので、立候補しました。少年助役になってみての感想は、まだ、始まって二、三カ月しかたっていないのですが、五回の議会、遊佐町合併50周年記念式典、姉妹都市・友好都市協定締結式などに参加することができ、とても充実した時間を送ることが出来ました。

初めに、私の政策提言を述べたいと思います。私は、二つの事に重点を置き、それを実現させたいと思っています。

一つ目は、住みよい町にすることです。その為には、危険だと思われる場所に、街灯や、カーブミラー等を設置して頂きたいと考えています。街灯等を設置することにより、夜道も

不安なく安心して帰ることが出来るようになると思います。現に私は、第一期少年議会の際に、政策提言として出された意見から、街灯を設置して頂いた場所の近くを通るのですが、通るたびに、以前より安心して帰れるようになったと実感出来るからです。

二つ目は、楽しいと思える町にすることです。具体的には、祭りやイベントを行い、地域との触れ合いを増やしていきたいと考えています。昨年度に、町内盆踊り大会や、少年議会による音楽イベントなどに参加してみて、その楽しさを知ることが出来たからです。それに、7月4日に行われた「ゆざこいソーラン祭」を見て、感動に近いものをあじわうことが出来たからです。しかし、遊佐町にあるほとんどの行事が、知られていないという現状があります。知って貰う為に、少年議員で、広報ないし、パンフレットを作成し、若者を中心に沢山の人に読んで貰えるようにしたいと、私なりに考えています。

次に、有権者の意見を述べたいと思います。私の発表する意見は、「イベント」についてです。有権者の皆さんの意見としては、「イベントを増やして欲しい」「音楽イベントをまたやって欲しい」「ボランティア活動をもっと積極的にして欲しい」などの意見が出されました。この意見から、有権者の皆さんも、私と同じで、祭りやイベントをしたいと思っていることがわかりました。しかし、遊佐町には、山形花笠祭りのように、学校ぐるみで参加したりなどということがなく、参加したくても、個人でということになり、参加しづらい状況にあるのではないのでしょうか？このことから、遊佐町にある、町民盆踊り大会や、ゆざこいソーラン、その他地区の行事に、小・中・高校単位で参加できるような行事を町ぐるみで作りに上げていけば、町と学校の距離も縮まるうえに、触れ合いも増えていくのではないかと、私は思います。

最後に、この遊佐町を、よりよい町にするには、町長はじめ、遊佐町に住むすべての人と一緒に作り上げていく必要があると思います。私も頑張るので、宜しくお願いします。

少年議会議長

狩野 未来



私は少年議員の狩野未来です。今年の政策には、昨年、少年議員として行った活動の経験と反省を生かしていきたいと考えていました。その反省点は何かと考えると、友人に言われた言葉を思い出しました。それは、「少年議員って、何してるの?」という言葉でした。その友人を含め、周囲の人々に、私たちがどんな活動をしているか、あまり知られていないことに私はショックを受けました。折角、少年議会があるのだから、その活動内容を皆に知ってもらいたい、だからそのための場が必要だと思いました。そこで考えたのは『議会だより』です。簡単に言うと、遊佐広報の少年議会版です。この『議会だより』を作成して得られるメリットは二つあります。一つは、有権者である中高生が、少年議会の活動内容を知ることができたり、イベントや町行事への参加を促すことも出来る点です。もう一つは、議会だよりを作成する私たち自身が、活動内容を反省したり、様々な課題や問題を理解できる点にあります。なぜならこのたよりには、少年議会の活動内容の他に、遊佐町

の大きな課題、例えば合併問題や町営バスの問題についても取り上げていきます。それらについて、私たち自身が記事を書くため、間違った理解をしていても改善することが出来ますし、再確認することも出来ると思うのです。分かり易く、読みやすい内容にすることによって、遊佐町についての知識が高まり、さらに興味関心を持てるようになるのではないかと期待しています。ですから、私はそういった情報を提供する場が必要だと思うのです。

さて、先日、少年町長・議員選挙の隣に集めた中高生の意見を、いくつかに集約しました。その中の『自然環境』についてまとめた結果、大きく二つに分けることが出来ました。一つは、「植樹をしてほしい」という意見、もう一つは「ごみ拾い・海岸清掃をしてほしい」という意見です。この二つの意見は、緑あふれる町に、ゴミがなく綺麗で自然豊かな町にしたい、という中高生の思いがあると思います。

そこで、植樹をすることは自然保護に役立つため必要ですが、具体的に何を植えるべきかと考えたところ、松の植林が必要ではないかと思いました。祖父が森林組合に勤めていたため、松くい虫の被害の大きさをよく聞いていました。庄内浜沿いの松は、先人の残してくれた大きな財産でもあります。そのため、この松林を絶やさないためにも、松の植林はとても重要だと思います。ですから松の植林は是非今後も継続して欲しい事業です。

少年議会議長

佐藤 永里



少年議員の佐藤永里です。私が議員として実現したいことは、バス停を新しく建て変えることです。

例えば、私の住んでいる野沢地区のバス停は、とても古くなっています。長い間雨や風にさらされ、屋根や壁はとてもさびついています。雨の日は壁に触れただけで服が汚れてしまいます。それに冬は吹雪の時にすぐ雪が中まで入ってきてしまい、とても寒いんです。また、中にある木のイスも古くなっており、トゲが刺さりやすくなっています。バス停は幼稚園に通う小さな子どもたちがバスを待つ所でもあるので、これは危険だと思います。これは野沢のバス停に限ったことではありません。六月の終わりに町長に遊佐町をバスで案内してもらった時も、各地区で、とても古い、さびついたバス停を見かけました。

バス停の建て替えが実現すれば、まず、楽しくバスを待てるようになります。今までは雪の中を待っていなければならなかったのが建物の中で待てられるようになるのは、と

ても良いことだと思います。また、バス停は幼稚園の子どもたちの送り迎えをするお婆さんたちの交流の場です。私は新しく建て変えたバス停の中で、より交流を深めてほしいと思います。

有権者の要望の中には、「店」をつくらしてほしいというものが十八件ありました。

その中で一番多かったものは、「そのすけの再建」で、九件です。そのすけは、以前遊佐の駅前地区にあった個人商店で、文房具やゲームの機械やソフト、CDなど様々な物を扱っていました。この要望が出されたのは、現在遊佐町にはCDやゲームソフトを売っている店が少ないからだと思います。コンビニでは少し売られていますが、有権者の要望には、「そのすけの社長とばっちゃんにまた会いたい。」「社長とばっちゃん二人で『どうもカード』のポイントをつけてもらいたい。」というものもあり中高生の中には、店の人との触れ合いを大切にしたいという人がいることがわかりました。これが実現すれば、中高生と地区の人々との触れ合いの場が増えます。

次に多かったのは「コンビニをつくらしてほしい」という要望が六件です。場所は、山・白井地区・下藤崎・西遊佐があげられました。あげられた地区はスーパーマーケットから遠い地区が多く、また遅くまであいている店が近くにないため、不便な点が多いようです。これが実現すれば店から遠い地区の人も買い物しやすくなり、一人暮らしのお年寄りには特に、とても便利です。また、子どもが危険な目に合ったときすぐに駆け込める所ができて、安全であるという利点があります。

以上のような点から有権者の方々は便利で活気のある町を望んでいることがわかります。しかし、コンビニを人の少ない地区に設置するのは経営上の問題などもあり、とても難しいと思います。そこで私は考えてみました。例えば現在遊佐町にある店のアンテナショップを希望のあった各地区に設置するシステムを導入するというのはどうでしょうか。コンビニより経営も容易であると思います。以上、提案して終わります。

少年議員

伊藤 彩夏



私は少年議員の伊藤彩夏です。私は少年議員になりたい事は、まず、お祭り事のようなイベントをしたいです。地区ごとや、友人同士ごとに、出店のような物を出したり、遊佐ROCKのようなライブや、年配の方も楽しめるよう、カラオケ大会などもしたりと、遊佐町民みんなが楽しめるイベント事がしたいです。また、私はスケートボードをしているので、近所の人などに「うるさい」と迷惑をかけてしまうので、のびのびと楽しくスケートボードをしたいので遊佐町にも、スケートパークを作してほしいです。作る場所は、騒音等の事を考えると、山の方になると思います。しかし、山の方になると、交通手段が不便です。だから、町の中心部に作るのが最適ではないでしょうか。私の考えでは、駅から徒歩5分、10分程度の場所が良いと思います。町民体育館わきの田んぼあたりか、遊佐小学校付近など、遊佐町にはたくさん作れそうな場所があると思います。私と同じような意見で『スケボーがで

る場所がほしい』という意見が、4件ほどありました。私は遊佐町に絶対スケートパークを作った方が良いと思います。スケートパークを作れば、スケボーもBMXもできるし、他の町民や市民のスケーター達が、たくさん遊佐町を訪れると思います。酒田市や八幡町にも、スケートパークはありますが、私は遊佐町には他より設備の整ったパークを作りたいです。野外パークはもちろんの事、東京などにあるような、室内パークを作っても良いと思います。パーク内には、レールやバンクやハーフパイプなど、たくさん設置し、使用料を百円、二百円単位の低価格で集金し、集まったお金で新しいパイプなどを設置したり、また、酒田市に『スタンプ』というスケボーなどを扱うSHOPがあるので、そこに協力してもらい、スケボーの大会など開催すれば、より他の町民や市民の人が訪れると思います。また、プロスケーターを呼び、講習会などをしても、たくさん人が集まり、遊佐町の活性化にもつながると思います。夜もできるよう、ライトも設置したら良いと思います。また、6件ほどあった『バスケットコートを設置してほしい』という意見では、スケートパークのとなりに、ストリートバスケットができるよう、バスケットコートを設置しても良いと思います。また、他の意見では『プール設置』『スポーツが出来る場所』など、スポーツを楽しめる場所を住民は、のぞんでいるようです。

少年議員

## 庄司 真希



私は少年議員の庄司真希です。私が議員になった理由は2つあります。まず一つめは遊佐町を若い人達にとっても住みやすく明るく活発な町にしたいと思ったからです。今の遊佐町には若い人が遊べる場所があまりありません。なので若い人達が楽しめるようなこの場所をつくりたいと思っています。そこにはスケボーパークやバスケットボールのリングやステージが作られてあってステージではライブなどができるようになっていて、そして花や木もいっぱいある若い人達が穏やかな気分になれる場所を遊佐の中心につくりたいです。

2つめは遊佐町をもっと自然があふれている豊かな町にしたいからです。遊佐町は今でも自然があふれているとは思いますが、しかし道端や川によく目を向けてみると、こみが結構あることがわかります。このままにしておくとも遊佐町の自然がだんだん消えていってしまいます。せっかくのめぐまれた自然がだいなしです。なので一人一人こころがけるた

めにも私たち少年議員がみんなに呼びかけごみをなくして行って、今よりもっと綺麗な遊佐町にしていきたいです。

次に遊佐町の中高校生からの意見の中で合併のことについての意見が三十七件ありました。中でも三十七件中『合併をしないでほしい』という意見が十五件ありました。合併をしないでほしいという意見は私も賛成です。けれども、合併で『遊佐町』というものはなくなりませんむしろ合併をして町がよくなると思います。なぜなら合併をしても遊佐町の文化や遊佐らしさがなくなることはありません。遊佐らしさというのは豊かな自然や伝統のことです。なので合併はよい方向に進んでいくので遊佐町はよりよい町になっていくと思います。

少年議員

## 黒島 龍之助



私は少年議員の黒島龍之助です。私が少年議員として実現したいことは、ユザロックという音楽イベントを行うことです。目的は、遊佐内外の人々の交流、及び遊佐町の文化的発展の促進です。この音楽イベントを催す上での目標は、前回よりもっとポピュラーに、もっと大々的にイベントを行うことです。具体的には、参加者の増加はもちろん、明確なプログラムの作成、場内アナウンサーの指定や、参加者控え室の設備調整など、前回の反省点を踏まえ、より細かな所まで着目し、一層皆さんに喜ばれるイベントとして開催したいと思います。

次に、私は有権者の意見の中から「安全」というカテゴリーをうけもちました。この「安全」は、主に現在の遊佐町の犯罪や治安などについての意見や要望が書かれたものを集めたもので、全部で十一件ありました。この十一件の内容を見てみますと、二つに分けること

が出来ます。一つが、「今の遊佐町のままで」とか、「事件の少ない遊佐町の維持」というような意見。これが六件ありました。この意見の数からも、現在の遊佐の治安は良いと言えると思います。ですが、注目すべきは残る五件です。この五件は全て、イジメのない町にしてほしい、という意見なのです。

そもそも、イジメが起こる原因というのは、動物の性からくるものであると言えます。国、いわば群れを作って生きていく人間であればこそ、異端を意識し、群れを乱す者を排除しようとするのは、自然なことなのかもしれません。しかし、必ずしもイジメを受ける人が「異端」であるとは言えませんし、「自然」だからといって、イジメという行為を容認しては、人間もただの獣と同じになってしまいます。深く思考をめぐらすことができ、主観や客観など複数の視点から物事をとらえられる人間だからこそ、「引く」のではなく、「足す」という方向で考えるべきなのだと思います。

では、具体的にはどんなことをしていけばよいのでしょうか？これは、まず親子の交流を深めることが大事だと思います。最近、親子の団らんの時間が少なくなってきている、とはよく聞きますが、なぜ、その親子の時間がイジメの消滅に関係あるのかと言いますと、これは、違う見や視点を持つ者同士で、自身の意見を言い合い理解しあうことがイジメの消滅につながると考えたからです。では、なぜ友達同士ではダメなのかというと、友達同士では対等でない場合が多いからです。どこかで一歩引いて話してしまいがちですし、相手の意見と全く逆の意見なんかは言いにくいものだからです。親子の団らんも兼ねられて、一石二鳥だと思います。

親子で意見をのべあうには、まず同じ出来事なるべく同時に体験し、それについて感じたことなどをのべあうのがよいと思います。その上で私が実現したいと考えている音楽イベントへ来ていただいてもけっこうだと思います。なぜ私が親子間の交流が大事であると言ったかという、私自身の生活の中で、親との会話は、他の人を相手に話している時にも少なからず影響していると考えたからです。

例えば、私なんかはよく父と映画を見たり、音楽を聴いたりするのですが、見たあとや、聴いたあとによく父に「感想は？」と聞かれるのです。私が感想をのべると、「なるほど」と言って納得したあとに、自分もこうも感じたということをお話するのです。この時の「なるほど」と自分はこうも感じたという部分は、私が友人らと話している時に行うことなのですが、やはり父の影響だと思っています。

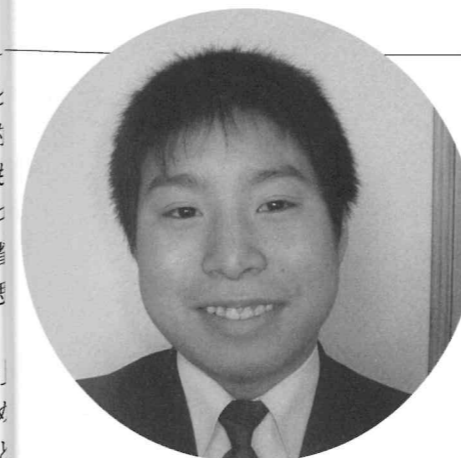
このように、親子の会話というのは、子である私達の考え方や行動に影響してきます。しかし、仕事が忙しくてという人も多くいると思います。そう人のために、町から企業などへ呼びかけていく必要があると思います。

しかし、それでもやっぱり話し合いがとれない親子のために、保健室の先生や図書室の先生のような、直接的な関わりがなく、かつ話しやすい立場の存在が必要になってきます。具体的には、カウンセラーなどといった人達にあたると思います。ただ、カウンセラーというと、なんとなく職業として話しを聞かれるのではないかと、思ってしまうので、そういった先入観をとり除くためのとりくみも、カウンセラー自身に望まれると思います。そうやって、ちょっと遊びに来たついでに、色々なことを話し合える環境をつくっていくべきだと思います。

イジメの明確な解決法は、今はまだ見つかっていませんが、今私が提案したようなことを実行していけば、イジメの消滅に近づくことになると思います。また、イジメの解決法を探し合う企画を設けていくことで、イジメの消滅へさらに近づいていく結果となると思います。遊佐町からイジメを無くすために、遊佐町みんなできちんといきましょう。これで、私の提案を終わります。

少年議員

## 佐藤 翔大



私は、遊佐町少年議員をやっている遊佐中学校3年の佐藤翔大です。遊佐地区の野沢に住んでいます。私が少年議員になったのは、理由があります。それは、今以上にお年寄りや地域の人達と昔の遊びなどをとおして遊佐町の文化を知って学んでほしいからです。今の子供達は子供達同士で遊んだり勉強をしたり、部活動をしていてお年寄りや地域の人達と一緒にふれ合うことができません。ですから、私はこう考えました。遊佐町でしかない行事を地域の人達と小中学生で作るのはどうでしょうか。たとえば、神鹿角切祭はほかの県の人達も参加しています。このように新しい行事を作ることで、地域の人達やいろんな県の人達と交流もできるのではないかと思います。

この少年町長、少年議員に実現してもらいたいという有権者の意見の中から、私は「国際交流のできる町にしてほしい、財政状態の安定した町にしてほしい」という意見を皆さま

んに伝えたいと思います。

まず、「国際的な町にしてほしい」という意見がありました。具体案として、一つは「外国人と国際交流をしてさかんになる町にしてほしい」という意見がありました。この有権者からあった意見を私なりに考えてみました。私はイギリス・ハンガリー派遣団員でイギリス・ハンガリーの人達との交流をしてきたので、これからもイギリス・ハンガリー派遣を続けてほしいと思います。外国人と交流することで、外国のことを知ることで私達の将来に役立つと思います。もう一つの具体案としては「海外への募金活動をさかんにしてほしい」という意見がありました。私がテレビを見ていた時、ある国で戦争があり戦争が終わった時にはたくさんの人が亡くなり、たくさんの人がけがをして治すことができないうえ食べ物がないため次々に亡くなっていく人もいます。ですから、遊佐町でこういう人達のために募金活動をして、人を思い合う心を持った遊佐町にしてほしいと思います。ですから私はこの意見を必ず実現させたいと思います。

次に、財政状態についてですが「町の中心街の活性化してほしい」という意見がありました。これも私なりに考えてみました。今の遊佐町は、財政が不安定なのでこれを改善するために私達が店の宣伝ポスターを作ったり、プリントで店の紹介などを書いて地域の人達が私達が紹介した店に来ることで町が活性化して、経済が豊かになり財政も安定してくると私は思います。

私はこの2つの意見が実現したら、今以上に遊佐町が明るくなり、毎日楽しく生活が出来ると思います。

少年議員

## 遠田 美由紀



私は、少年議員の遠田美由紀です。私が少年議員として、実現したいと思う政策は2つあります。

一つ目は、松の植林です。私が小学校の低学年だったころは、たくさんの松があおおと茂っていて、とても美しいものでした。しかし、ここ五年近くで、西山や吹浦の海岸線沿いの松が急に減ってしまったような気がします。マツ食い虫の害で、松は、茶色に変色し、スカスカに穴のあいた幹は折れてしまっています。そんな松の様子を見ていると、とてもむなしきもちになりました。そして、もう一度きれいな松林を見たいと思い、松の植林してもらいたいと思って、自分の存在をわかってもらわなければ意味がありません。自分の存在をしめすためのカギになるものこそあいさつです。あいさつができれば自分のこともおぼえてもらえるし、相手の人と仲よくなるきっかけにもなります。つまりあいさつは人と人を結ぶ重要な架け橋だと思います。

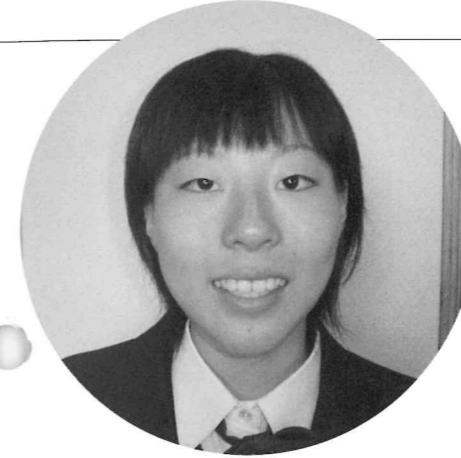
2つ目は、町内にある老人ホームへの募金活動です。エルパなど、町民が多く集まる場所に行き、少年議会の人で募金を集めたいと思っています。その理由は、遊佐町のお年寄りの人口が増えているからです。そして、お年寄りの人達はいろんな面で、弱い立ち場にあるように思えます。そんな人達だからこそ、私達若い人間が支えにならなければいけないのではないかと思ったからです。

次に、「街灯設置」についての有権者からの意見について述べたいと思います。「下校、部活帰りに安心できるように、暗い所に街灯をつけてほしい。」というような意見が6件ありました。具体的に出た物では、「西山に街灯がなくて危ない」「葦岡から遊佐に通じる田んぼの街灯が少なすぎる」「旭ヶ丘の通りに街灯がほしい」「大楯の田んぼの所に街灯をつけてほしい」などがありました。このような意見から中学生として、暗い所を何十分もかけて一人で帰ることに、「怖い」「不安」というきもちをもっている人が多くいることを示しているのではないのでしょうか。

こうして、有権者の意見を見てみると、まだまだ町内には設備が行きわたっていない所があるのだと感じました。そして、そこに不安を感じる人が多くいることにあらためて街灯設置の必要性を感じました。ですので、街灯がつけば、みんなが安心し、安全な町に近づいていけると思います。

少年議員

## 佐藤 里沙



私は、少年議員の佐藤里沙です。私が、今年の少年議員として実現したいことは、遊佐駅のトイレの立て直しです。駅トイレは外のすみっこの木の下にあります。そのトイレは、見た目も悪く中はとてもきたないです。私は遊佐の多くの人利用する駅なのにこのままではいけないと思いました。そしてどこを直したらいいか具体的に考えてみました。

まず一つ目は、トイレのある場所です。駅からの少し離れていてとても入りにくい場所にあります。それも夜になるとなおさらです。建て物じたい古くなってきているしそこまで古くなっていると、だれも入りたいたいと思わないでしょう。

そして、ここまで悪い所がわかっているのに直さないわけにはいかないと思います。そこで次のトイレを建てる時には場所や、町民の使いやすさなどいろいろな所に気をつけて、町民みんなの意見を取り入れて作ってほしいと思います。

次に、選挙の投票の時にとったアンケートの有権者の意見についてです。

少ない数ではありましたが「あいさつが活発にできるような町」というのがありました。この意見はみんながどうでもいいから書かないのではちがうと思います。あいさつができてあたりまえだからこそみんなが書いてないのでしょう。そのあたり前のことを書いている人が一人でもいるということは遊佐町の人はそのあたりまえのことができていないということです。

この問題を解決するためにどうしたらいいか考えてみました。でも、どんなに考えても自分なりの答えは一つしか出てきませんでした。それは、町民みんながあいさつを心がけるということです。どんなにたくさんの人があいさつをしようと言っても一人ひとりがそう思わないかぎり結局あいさつはしないと思います。

今、中学校の生徒会でもあいさつ運動をやっています。ですがほとんどの人があいさつを返してくれません。あいさつを返してくれないということは、まだほとんどの人があいさつの大切さをわかっていないということではないのでしょうか。

私がいさつをこんなにも大切なものと思った理由は、あいさつが自分を理解してもらうためのスタートだからです。どんなに自分を理解してもらいたいと思っても、自分の存在をわかってもらわなければ意味がありません。自分の存在をしめすためのカギになるものこそあいさつです。あいさつができれば自分のこともおぼえてもらえるし、相手の人と仲よくなるきっかけにもなります。つまりあいさつは人と人を結ぶ重要な架け橋だと思います。

これからの遊佐町は、みんながあいさつのできる人になり、あいさつによってたくさんの人との交流を大切にできる人が増えていけばいいと思います。

少年議員

## 遠田 一行



少年議員の遠田一行です。僕は、下藤崎二区に住んでいます。僕が議員として実現したいこと、公約にかかげている音楽イベントを開くことです。音楽イベントという前年度に開かれた「遊佐ロック」を思い浮かべる方が多いと思います。僕がやりたいイベントもまさにそれと同じものです。僕は前回と同様にバンドを中心とした物にしたいと思っています。前は、あまり宣伝をしていなかったでそれほどグループが集まりませんでした。次回の開催時にはチラシなどを配ったり遊佐駅、吹浦駅、酒田駅にポスターを貼らせてもらうなど宣伝した方がいいと思います。このイベントを開催することによってバンド間での交流ができ、それによって演奏者の技術の向上にもつながると思います。その時に音楽に詳しい楽器店の人や一般の人を呼び好評をもらうことによって、一層良いイベントになると考えます。幸い遊佐町には体育館などの練習場所が多くあります。またイベントを開くことにより人が

んに伝えたいと思います。

まず、「国際的な町にしてほしい」という意見がありました。具体案として、一つは「外国人と国際交流をしてさかんになる町にしてほしい」という意見がありました。この有権者からあった意見を私なりに考えてみました。私はイギリス・ハンガリー派遣団員でイギリス・ハンガリーの人達との交流をしてきたので、これからもイギリス・ハンガリー派遣を続けてほしいと思います。外国人と交流することで、外国のことを知ることで私達の将来に役立つと思います。もう一つの具体案としては「海外への募金活動をさかんにしてほしい」という意見がありました。私がテレビを見ていた時、ある国で戦争があり戦争が終った時にはたくさんの人が亡くなり、たくさんの人がけがをして治すことができないうえ食べ物がないため次々に亡くなっていく人もいます。ですから、遊佐町でこういう人達のために募金活動をして、人を思い合う心を持った遊佐町にしてほしいと思います。ですから私はこの意見を必ず実現させたいと思います。

次に、財政状態についてですが「町の中心街の活性化してほしい」という意見がありました。これも私なりに考えてみました。今の遊佐町は、財政が不安定なのでこれを改善するために私達が店の宣伝ポスターを作ったり、プリントで店の紹介などを書いて地域の人達が私達が紹介した店に来ることで町が活性化して、経済が豊かになり財政も安定してくると私は思います。

私はこの2つの意見が実現したら、今以上に遊佐町が明るくなり、毎日楽しく生活が出来ると思います。

少年議員

## 遠田 美由紀



私は、少年議員の遠田美由紀です。私が少年議員として、実現したいと思う政策は2つあります。

一つ目は、松の植林です。私が小学校の低学年だったころは、たくさんの松があおあおと茂っていて、とても美しいものでした。しかし、ここ五年近くで、西山や吹浦の海岸線沿いの松が急に減ってしまったような気がします。マツ食い虫の害で、松は、茶色に変色し、スカスカに穴のあいた幹は折れてしまっています。そんな松の様子を見ていると、とてもむなしい気持ちになりました。そして、もう一度きれいな松林を見たいと思い、松の植林を思いついたのです。吹浦には、少し植林してある場所がありますが、まだ足りていない気がします。ですので、「もう一度松林を見たい所はどこか」というアンケートを、役場、中央公民館、駅などに設置し、町民のみなさんの意見が多かった場所に少年議会の人で植林したいと思っています。

2つ目は、町内にある老人ホームへの募金活動です。エルパなど、町民が多く集まる場所に行き、少年議会の人で募金を集めたいと思っています。その理由は、遊佐町のお年寄りの人口が増えているからです。そして、お年寄りの人達はいろんな面で、弱い立場にあるように思えます。そんな人達だからこそ、私達若い人間が支えにならなければいけないのではないかなと思ったからです。

次に、「街灯設置」についての有権者からの意見について述べたいと思います。「下校、部活帰りに安心できるように、暗い所に街灯をつけてほしい。」というような意見が6件ありました。具体的に出た物では、「西山に街灯がなくて危ない」「蔵岡から遊佐に通じる田んぼの街灯が少なすぎる」「旭ヶ丘の通りに街灯がほしい」「大楯の田んぼの所に街灯をつけてほしい」などがありました。このような意見から中学生として、暗い所を何十分もかけて一人で帰ることに、「怖い」「不安」という気持ちをもっている人が多くいることを示しているのではないのでしょうか。

こうして、有権者の意見を見てみると、まだまだ町内には設備が行きわたっていない所があるのだと感じました。そして、そこに不安を感じる人が多くいることにあらためて街灯設置の必要性を感じました。ですので、街灯がつけば、みんなが安心し、安全な町に近づいていけると思います。

少年議員

## 佐藤 里沙



私は、少年議員の佐藤里沙です。私が、今年の少年議員として実現したいことは、遊佐駅のトイレの立て直しです。駅トイレは外のすみこの木の下にあります。そのトイレは、見た目も悪く中はとてもきたないです。私は遊佐の多くの人が利用する駅なのにこのままではいけないと思いました。そしてどこを直したらいいか具体的に考えてみました。

まず一つ目は、トイレのある場所です。駅からの少し離れていてとても入りにくい場所にあります。それも夜になるとなおさらです。建て物じたい古くなってきているしそこまで古くなっていると、だれも入りたいとなんか思わないでしょう。

そして、ここまで悪い所がわかっているのに直さないわけにはいかないと。そこで次のトイレを建てる時には場所や、町民の使いやすさなどいろいろな所に気をつけて、町民みんなの意見を取り入れて作ってほしいと思います。

次に、選挙の投票の時にとったアンケートの有権者の意見についてです。

少ない数ではありましたが「あいさつが活発にできるような町」というのがありました。この意見はみんながどうでもいいから書かないのではちがうと思います。あいさつができてあたりまえだからこそみんなが書いてないのでしょう。そのあたり前のことを書いている人が一人でもいるということは遊佐町の人はそのあたりまえのことができていないということです。

この問題を解決するためにどうしたらいいか考えてみました。でも、どんなに考えても自分なりの答えは一つしか出てきませんでした。それは、町民みんながあいさつを心がけるということです。どんなにたくさんの人があいさつをしようと言っても一人ひとりがそう思わないかぎり結局あいさつはしないと思います。

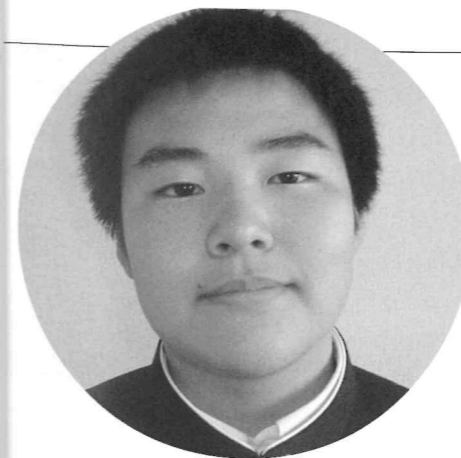
今、中学校の生徒会でもあいさつ運動をやっています。ですがほとんどの人があいさつを返してくれません。あいさつを返してくれないということは、まだほとんどの人があいさつの大切さをわかっていないということではないのでしょうか。

私があいさつをこんなにも大切なものと思った理由は、あいさつが自分を理解してもらうためのスタートだからです。どんなに自分を理解してもらいたいと思っても、自分の存在をわかってもらわなければ意味がありません。自分の存在をしめすためのカギになるものこそあいさつです。あいさつができれば自分のこともおぼえてもらえるし、相手の人と仲よくなるきっかけにもなります。つまりあいさつは人と人を結ぶ重要な架け橋だと思います。

これからの遊佐町は、みんながあいさつのできる人になり、あいさつによってたくさんの人との交流を大切にできる人が増えていけばいいと思います。

少年議員

## 遠田 一行



少年議員の遠田一行です。僕は、下藤崎二区に住んでいます。僕が議員として実現したいこと、公約にかかげている音楽イベントを開くことです。音楽イベントという前年度に開かれた「遊佐ロック」を思い浮かべる方が多いと思います。僕がやりたいイベントもまさにそれと同じものです。僕は前回と同様にバンドを中心とした物にしたいと思っています。前は、あまり宣伝をしていなかったのでもう一度グループが集まりませんでした。今回の開催時にはチラシなどを配ったり遊佐駅、吹浦駅、酒田駅にポスターを貼らせてもらうなど宣伝した方がいいと思います。このイベントを開催することによってバンド間での交流ができ、それによって演奏者の技術の向上にもつながると思います。その時に音楽に詳しい楽器店の人や一般の人を呼び好評をもらうことによって、一層良いイベントになると考えます。幸い遊佐町には体育館などの練習場所が多くあります。またイベントを開くことにより人が

集まり、町のイメージアップや、イメージ作りに役立つと思います。なのでこのイベントを実現したいです。  
次に5月の投票の時に寄せられた意見のうち交通関係では、電車やバスの路線に関する意見、要望が38件ありました。バス関係では町営バスからスクールバスに戻してほしい、という意見が多く、ほかにはバスの路線・時間に関する意見も出ました。しかし7月1日より路線・時間が改正されまだ2カ月ぐらしか経っていないのもう少し様子を見た方がいいと思います。またスクールバスに戻すということは、学校だけではバスが維持できなくなり町営という形をとったので元に戻す必要がないと思います。バスについても一つ、バスが通る道についてです。おそらく回送のバスだと思いますが近くに大きな道があるにも関わらず、わざわざ狭い道に入ってくるのを過去に何度か見かけていました。その道は一般の車はすれ違うことはできますが、バスなどの大型の車両はすれ違うのに対向車の協力が必要です。しかもそこは踏切なので注意が必要な場所でした。僕はこの光景を見た時、かなり危ないと思ったしバスの運転手が対向車の運転手に「端によれ」と言っていたこともありバスの運転時には道を選ぶべきです。

電車については、遊佐駅、吹浦駅のトイレを整備してほしいという意見が見られました。自分も駅のトイレを利用する時にそう思うので定期的にそうすべきと考えます。

そして一番多く見られたのは、電車の運行ダイヤに関するものでした。しかも全ての意見はダイヤを増してほしいというものでした。しかし具体的な時間を示したものは少ないので、僕の考えではアンケートを取りその結果でJRに交渉するのがベストな方法だと思います。そして、電車のダイヤを増やすことによって人の流れができ、町のイベントなどにも人が来やすくなると思います。以上のような利点があるので前向きに検討してもらいたいです。

少年議員

土門 加代子



私は少年議員の土門加代子です。私は以前から遊佐は、自然が豊かとか素晴らしいと言っているわりには、そういった自然に関する施設があまりないと思います。否、私の勉強不足かもしれないけれど、知っている限りでは、そんなに多くはないと思ったのです。なので折角のこの自然や地形を十分に活用した施設を造ってみてはどうかと思い、私なりにいくつか提案してみました。

まず一つ目は、一年間を通して使用出来るようなプールがあったら良いと思います。遊佐にはプールなどの施設がなく、プールに行きたいと思っても、なかなか酒田まで行けないし、何より遠いのです。なので、老若男女問わず、色々な人が使えるプールがあれば、とても良いと思います。プールが造れないとしても、折角綺麗な水があるのだから、公園の中に自然に近いような川の流れをつくったり、噴水とまではいかなくても、地面から水の出るような所をつくってみてはどうかと思います。その設備を整えて、バーベキューや芋煮が

来たり、バドミントンやテニスのストリートコートがあっても良いかもしれません。

二つ目は、キャンプ場です。先日私は西浜のキャンプ場へ伺ったのですが、設備も管理もきちんとしていて、とても良い感じでした。しかしスイカなどを冷やしておける場所がなく、困ってしまいました。井戸水(地下水)などがあれば、キャンプの利用者が増える時期だけ水を出っぱなしの場所(よくテレビに映る様な野菜などの洗い場)を設置してはどうかと思います。折角川があるのだから、釣りの道具などを貸し出してはどうかと思います。川でも自由に安全に遊べる場所があれば、とても楽しめると思います。

最後に、折角遊佐にも色々な祭りや行事、催し物があるのだから、もっと若い世代の人達にも伝わるようにしたら良いのに…。と思います。私などは、ついこの間まで遊佐で毎年夏祭りをしてきた事や、他の様々な催し物について、全くと言っていい程知らなかったのです。私の様な人が実際にいるので、若い人達が来る来ない、参加する参加しないというのを無しに、皆に知ってもらえるよう(例えば、私達学生は学校が一番の情報源なので、校内でその時々の催し物に触れてみたり、学校回覧板を作ってみたり)色々工夫してはどうかと思います。

少年監査委員

小田原 茜



私は少年監査委員の小田原茜です。私個人が実現したいと考えていることは、「お年寄りも安心して暮らせる町づくり」です。何故かと言うと、今の遊佐町は未だお年寄りにとって少しだけ住みにくい町であると思うからです。例えば段差の多い公共機関の建物です。これは腰の悪いお年寄りにとって体に負担がかかりすぎるものだと考えます。

このように、お年寄りにとって不便な所が少なくないのが現状です。遊佐町の総人口の四分の一をしめているお年寄りが安心して暮らせないのでしたら、同じ遊佐町民として心苦しい部分があります。それに、お年寄りが安心して暮らせる町にする、ということはどういうことではないでしょうか?例としてあげるとしたら、信号のない横断歩道の前でいつまでも渡れないでいるお年寄りと一緒に渡ってあげること。これは町を歩いていて気付いたことなのですが、お年寄りは横断歩道を渡りづらいようで、時には渡るのをあきらめてしまっている方も見かけたことがあります。でも、一緒に渡ってあげることが

難しいと思う人はいないと思います。「一緒に渡りませんか」というその一言でお年寄りが安心して渡れることができるとしたら、「お年寄りが安心して暮らせる町づくり」の第一歩が踏みだせた証拠だと思います。

他には、お年寄り一人だけで暮らしている家が近所にあったとしたら、そのお年寄りの話し相手になることも十分に「お年寄りが安心して暮らせる町づくり」に貢献できることです。普段から一人で話し相手もいない家に住んでいる、と考えると私は寂しくて怖い、と思いますし、お年寄りの方々もそう考えていると思います。だから、毎日なくても話し相手になれば「怖い、寂しい」という気持ちも消えるし、「次はいつ来てくれるのだろうか」といつまでも嬉しさ、楽しさが持続されるのではないかと思います。

今までの例は、どれも簡単に実行できるものばかりです。こんなにも簡単なことをいくつか実行すれば「お年寄りも安心して暮らせる町」になるのに、何故今までできなかったのでしょうか?それは多分私達、中学生、高校生が知らないと話すが怖かったからではないかと考えます。これはあいさつにもつながることなのですが、ちょっとしたあいさつ等でお年寄りも嬉しい気持ちになると思うし、そのあいさつが広がって交流も深まると思います。返ってきた返事を聞けば、私達も安心したり、嬉しかったりしませんか?

私の考える「お年寄りも安心して暮らせる町づくり」は意外に簡単にできることです。同じ遊佐町民として困っている人に手をさしのべるのは当たり前です。そのさしのべかたしだいで交流を深めることもできるし、何より、さしのべた方も、さしのべられる方も心が軽くなり嬉しいという思いが芽生えます。

その嬉しい、安心したという気持ちをお互いにもつことは「お年寄りも安心して暮らせる町」の終点であり、出発点なのです。

少年監査委員

佐藤 優希



私は、少年監査委員の佐藤優希です。私は、遊佐のシンボルになるような旗を作りたいと思いました。何故かこのようなアイデアを書いたかという、私の母がバイクに乗るのが好きなので、今年の夏にバイクで北海道に行きました。その時に北海道のガソリンスタンドでガソリンをつめ終わった時に旗をもらえたそうです。その旗を北海道ではスタンプラリー形式で集めているそうです。その話を聞いて私は、そういう事を遊佐町でもとり入れていきたいと思いました。そして、北海道形式に自分のアイデアをくわえて考えました。

遊佐町は夏になると観光客が多くなる時期なのでその期間を利用して観光施設やガソリンスタンドを利用してくれたお客様に遊佐のシンボルの旗をあげます。その旗を「あぼん」や「遊楽里」または食堂などにみせれば割り引きサービスなどの特典がつけます。そうすればお客様も喜んで利用してもらえると思うし、また遊佐町に来る楽しみが増え観光客も

増えます。そして何より町の活性化につながると思います。

次に私は、有権者の方の意見の中でも「高齢者の老人ホームのとりいれを多くしてほしい」「電話回線高速化」や「イメージキャラクターをつくってほしい」という意見のとりまとめを担当しました。「高齢者の老人ホームのとりいれを多くしてほしい」という意見には更に高齢化がすすむので、福祉施設の部屋数を多くし、施設の増加にとりくんでほしいと思います。「電話回線高速化」の意見には、インターネット可能な設備をととのえて、もっとより便利になってほしいと思います。

最後の「イメージキャラクターをつくってほしい」という意見に自分の考えと重なる部分がありました。それを組み合わせるにはどうするかを考えました。まず遊佐町の図書館や町民体育館や各学校など、自転車でもかよえる距離にBOXを置きます。なぜなら気軽に応募してもらいたいからです。そしてキャラクターを最後にのべた旗にのせたり、遊佐町のポスターや遊佐町のパンフレット、観光雑誌などにのせまします。そうすることによって遊佐町以外の他県の人達にそのキャラクターをおして遊佐町に関心や興味をもってもらい遊佐町の宣伝にもなり、町では遊佐町にもっと愛着がわき町全体が一つになれると思うのです。町を活気があふれ元気な町にするには、町全体の協力が必要だと思います。皆一緒に楽しく遊佐町をもっと、もっといい町にしていきたいと思います。

少年議会議務局長

中島 ゆき



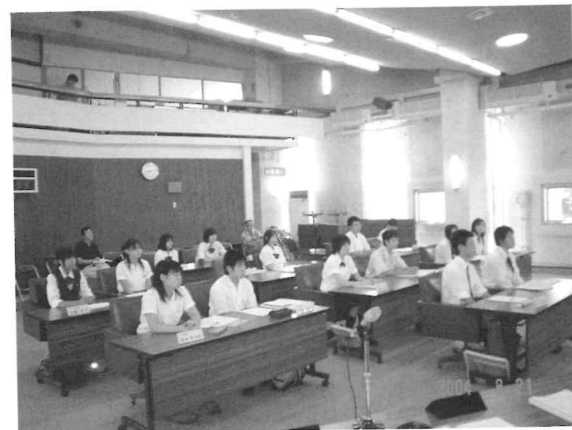
私は、遊佐町にポスターを貼り、遊佐町をアピールする事を提案します。75万円を利用して遊佐町に新しい物を作るというのではなく、昔からある、遊佐の自然や、伝統芸能をより多くの人々に知ってもらふ必要がある、と考えたからです。

どのようなポスターかという、今までにあったようなイベントの宣伝や日時などのお知らせを目的としたものではなく、遊佐町ならではの祭やシンボルとなるものをモチーフにいくつかのデザインポスターを作り、シリーズとして駅や商店街などに貼るのです。

そのためには特別目立つような文字を入れず、デザインで人々の気をひきます。なぜなら文字を遠くから見てもすぐわかるようにしてしまうと、人はあまりよく見なくなってしまうからです。以前美術の先生からポスターとは、一見して「これは何だろう」と人に思わせてしまうもののほうが、かえってよく見ようとしてしまうものなのだ、と聞いた事がありました。

そのように明るく、カッコいいポスターを遊佐町をはじめとする、各地に貼りたいと思ったのです。

ポスターのデザインを町の人々から募集したりする事で、私達町民が自分達の町をデザインするという事にもなります。町民の町に対する意識を高めると同時に、ポスターを見た人々も「遊佐ってどんな所なんだろう。」「遊佐に行ってみよう。」と思う機会が増えるのではないかと思います。遊佐町を少しでも多くの人々に知ってもらい、訪れてもらうためには、このような宣伝活動が必要なのではないか、と思いました。



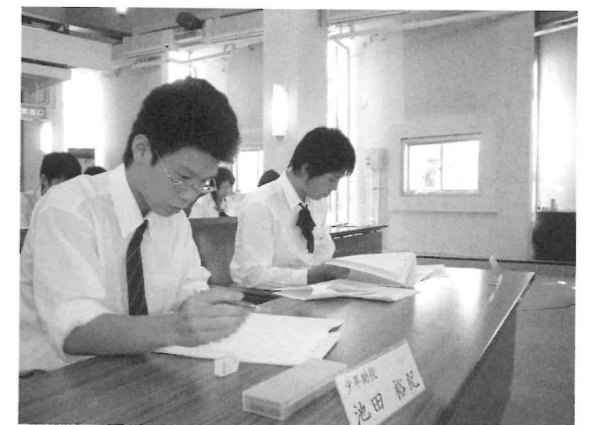
●第6回少年議会風景(遊佐町役場議事所にて)



●赤塚縁少年町長



●少年議会議務局による経過報告



●町長・担当課長の答弁を真剣に聞く

少年議会議務局長

堀 美香



私は少年議会議務局長の堀美香です。私は、前回の政策課題カードの、あなたがぜひ実現したいと思うことの欄に、交通事故防止と記入しました。具体的に言うと、歩行者優先等の看板の設置などです。なぜ私がこれをやってもらいたいかというと、遊佐町前の小さな十字路で、事故に遭う人が意外と多いからです。道路のアスファルトに、止まれと表示してあるのにもかかわらず、きちんと止まってくれる車がありません。そのせいで、私も事故に遭いそうになったことがあります。私以外の友人も事故に遭ったり、遭いそうになった人が何人かいます。そして、六、七月ごろにも、ケガはなかったものの、事故に遭った中学生がいました。こんな状況下で、通学途中などに事故が起こったらどうなるでしょうか。電車に乗り遅れるだけでは済まされないかもしれません。こちら側がミラーを見て注意していたとしても運転側が注意してくれなければ、事故は防げないと思います。このまま、何もせずにいれば、またいつか、交通事故に遭ってしまう人がでるでしょう。皆が共用する、た

った一つしかない遊佐駅。その、駅前の道路だからこそ、何か対策をしなければいけないと思います。その対策の一つ目として、先程述べた歩行者優先等の看板の設置、二つ目は、地域で「止まれ」の看板をつくって、運転側に表示が見えるようにすること、三つ目は、運転する時に、「自分なら大丈夫だろう」と、危険に対して油断せず、「もしかしら」という気持ちで運転していただくこと。もちろん、それは歩行者側にもあてはまることです。誰もが安心して通れる道路をこれからどんどん増やしていけたらいいと、私は考えています。

有権者の意見について。

私が担当することになったのは、少年議会に対する意見でした。その内容には、次のようなものがありました。「老人ホームなどについて」「みんなの願いを取り入れて、今よりいい町にしていきたい」「遊佐町の名所を知らない人にPRしてもらいたい」「酒田市などの合併問題について意見を述べてほしい」「議会で決まった事などをもっと私達にも知らせてほしい」「予算の無駄使いをしないでほしい」などの意見でした。あまり具体的でなかったり、どうしたらいいかわからないものが多いですが、老人ホームなどについてという意見は、老人ホームなどの福祉施設を増やして、お年寄りの方々にとって、さらに住みよい町にしていきたいということだと思います。遊佐町の名所をPRしてほしいという意見については、私達も知らない場所が多かったりするので、遊佐町民の人たちに、パンフレットを作成し、遊佐町はこんな町だ、というのを知らせていければ、町についての関心も増え、交流の場も多くなり、さらによりよい町づくりに発展させることができると思います。遊佐町や、私達に対して意見を持ってくださっているの方々には、本当に感謝したいと思います。私たちができる限りのことは、遊佐町のためにも精一杯頑張っていきたいと思います。

# 政策提言

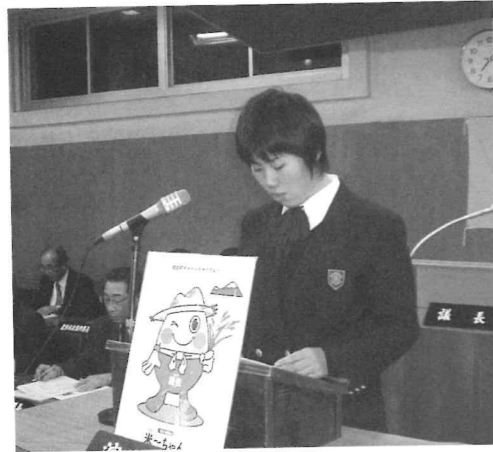
## 2

【有権者が望む政策・私の政策】

平成16年11月3日●  
第12回少年議会

少年町長

### 赤塚 縁



少年町長の赤塚縁です。この遊佐町少年議会の任期もあとわずかとなってきていますが、現在の状況として、実行することのできた政策がいくつかあります。

まず、情報提供の面では、10月15日に私達の活動内容等についてまとめた「議会だより」の第1号を発行することができました。これは、私が昨年議員として感じ、今年も課題としていた「少年議会の活動をもっと皆に知ってもらおう」という点の改善となっているので、個人的にも大変嬉しいです。

次に、イメージキャラクターの公募を行いました。広報、そして各小、中、高校に協力していただいた結果、全部で528通もの応募がありました。予想以上にたくさんの応募があり、とても嬉しかったのですが、どれもすばらしく、アイデア溢れる作品ばかりで最後まで選ぶのが大変でした。その中から白崎愛実さんの作品が最優秀賞に選ばれ、遊佐町のイメージキャラクター候補となりました。白崎さんのキャラクターはとても可愛らしく、イラストレーターの方も私の隣でうなる程でした。これだけたくさんの応募があったということは、それだけ

この遊佐町を好きだという人がいるということでもあると思います。そんな風にして、このキャラクターが住民に愛されるものとなれば良いと思えます。そして現在も行っております、議員の店も実現することができました。最初に小野寺町長に「議員の店を出そう」と目を輝かせて言われた時には、私達の店と言われても全く何の想像もできず、具体的なものが何一つ浮かびませんでした。ですが今、本当に様々な方々の協力を得て、「議員の店、カフェ・ラおーたむ」をOPENすることができました。最初にOPENした時から、徐々に地域の方々のお陰で商品も増えて来ており、一応喫茶店として始めたのですが、ちょっとした雑貨店のようなと個人的に密かに思っています。また、この店には、議会だよりを置き、そしてイメージキャラクターの掲示も考えているので、そういう点で店はいい情報提供の場にもなっています。そこでこの店の利益についてですが、私は先日の地震で現在も大変な生活をしている新潟県へ送りたいと思っています。連日テレビ等で報じられる被災地の方々に、私達からも応援する気持ちを送りたいです。私の学校でも、文化祭の利益を新潟県へ寄付することになりました。ですから私達も何かできることがあるならやるべきだと強く思います。

最後に、前回の提言の時にもあった松林の松の植樹についてですが、私自身、慣れ親しんだ景色から気がつく松がなくなり、緑が少し減った気がします。有権者の意見の中でも、遊佐はずっと自然が豊かな町であって欲しいという声が多数あったので、ぜひ私達もそのために植樹をしたいと思っています。

そして、これから町の方では、この決定したイメージキャラクターの候補をもっと町に広め、定着させるために、広報やポスター等の作成の際、このキャラクターをどんどん登場させて下さるよう、お願いします。



●酒田西高等学校2年白崎愛実さんが最優秀賞受賞



●最優秀賞作品「米~ちゃん」

少年助役

### 池田 裕紀



私からは、街灯の設置と黒松の植林について述べたいと思います。街灯の設置も、黒松の植林も遊佐町には必要不可欠なものの一つだと思います。

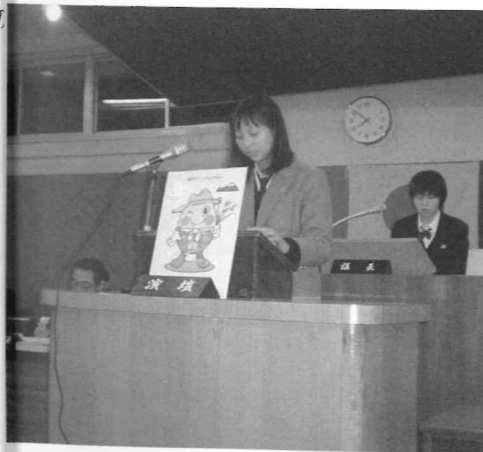
初めに街灯の設置についてですが、街灯は夜の暗い道を明るく照らしてくれる、とても便利なものです。遊佐町のほとんどの道が街灯なしでは通ることの出来ないような暗くて危険な道ばかりだと思います。特に中高生の通学路であればなおさらのことです。自転車のライトは、自動車のライトほど明るくなく、自分が進む道のところがぎりぎり見える程度で、まわりはまったくと言っていいほど見えません。そんな状況で安心して帰れるはずはありません。ぜひ、街灯の設置をお願いいたします。第6回少年議会の際に、去年の継続として大橋・上大内の街灯の設置について、少年議員として政策要望をしましたが、その後、どのように進展しているのかをお伺いいたします。

次に、黒松の植林についてですが、黒松は遊佐町の木でもあり、先代の方々が、海風による砂の吹き付けをおさえる為に苦勞して植えたものです。その黒松が、松食い虫による被害で失われてきています。その大切な黒松を自分たちの手で植え直し、手入れをしていく必要があると思います。計画としては、前回の議会の際に街灯と植林の意見がだされ、黒松の植林の方は、農林水産振興課長さん、環境安全課長さんの方から、「黒松の植林をしないか」という話をいただいたので、年内中に出来るようにと考えています。

このことが実現できれば、安全な町、そして塩害、砂の被害も防ぐことができ、地球温暖化の原因でもある二酸化炭素を減らすことのできる、環境に優しい町になっていくと思います。少年議会としてぜひ実現できるようにお願いします。

少年議会議長

### 狩野 未来



先日、私の政策提言でもあった「少年議会だより」を発行することができました。私がこの「少年議会だより」を発行したかったのは、昨年、少年議員として活動して得た「少年議会でのどのような活動をしているか周囲の人々にすら、あまり知られていない」という反省点があったからです。そこで「特に有権者であった中高生に、少年議会の活動内容を知ってもらう必要がある」と思い、その活動を報告していく場として少年議会だよりの作成をしようと考えました。

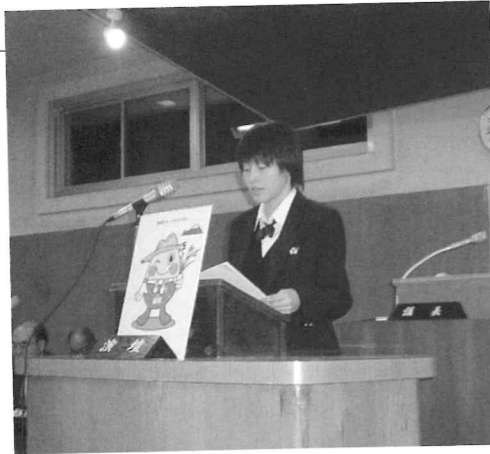
そして実際に発行できて本当に良かったです。なぜなら、クラスの友達にこんなにやってくれるんだね、と言われて嬉しかったからです。他にも、余目の友人に「見たよ」と言われました。学校という、多数の人が集まる場所だからこそ、遊佐以外の人にも知ってもらえる機会になったと思います。また、大人の方にも、少年議員で作った広報というものがあるのなら見たいと言われ、少年議員の活動内容に興味を持っていたことが、とても嬉しかったです。しかし、現在、このたよりを配布しているのは中学校と各高校の遊佐の生徒分、それと議員の店だけです。他の方々に「たより」を見ていただけるのは、少年議員の店しかありませんが、たよりを見て商店を訪れていただけたら、商店に来てくれた人がたよりを見てくれたら、嬉しいと思います。

今回、無事に第一回目の少年議会だよりが発行出来ましたが、まだまだ足りないところもありました。締め切りに余裕を持って作成出来なかった点と、少年議員の店の記事にあるように正しい情報を載せられなかったこと、そして「目次」がないために何の情報も書いてあるのか良くわからなかった点です。これから任期の終わる十二月まで、もう二回は発行していきたいと考えていますが、そのときはこれらの反省点や課題をいかして、さらに解り易いものを作っていきたいです。



少年議会副議長

## 佐藤 永里



有権者である中学生・高校生から遊佐町商店街の活性化についての要望が多く寄せられました。中でも地域の人々との交流を深めたいというものが多く、町長の提案を受け、商店街にも少年議員の店を出すことを決定しました。

少年議会商店班を中心に話し合いを行い、喫茶店をすることになりました。当初のメニューはクレープやフレンチトーストなど卵や牛乳を使って調理するものが多くありましたが、保健所の許可がおりず、交渉の結果、生物の調理は不可、冷凍食品を電子レンジで温める程度の加熱と切って盛り付ける程度の調理のみ可能となりました。

少年議会だより、遊佐広報にメニューを発表してからの変更ということでも店に来てくれたお客さんには多大な御迷惑をおかけすることになり、大変申し訳なく思いました。当初メニューに載せていたフライドポテトは冷凍食品がありましたが、油で揚げるかオーブントースターで調理するものしかなく、店を出すことができませんでした。また一方でピザは、オーブン・オーブントースターで調理するものが多かったのですが、レンジで加熱するものを見

つけ、チーズを増量してメニューに加えることになりました。メニューがすべて冷凍食品になったことでメニューの幅が広がり、ナポリタンやピラフなど簡単に作ることでできないものも加えることができました。

仮に調理をしてみて、電子レンジとコーヒーメーカーと一緒に使うとプレーカーが落ちるなどのハプニングもあり大変でしたが、十月で閉鎖したとりみ荘から備品をお借りすることができ、無事にオープンできました。看板も素晴らしいものをとりつけて頂き、たくさんのお客さんが来店くださり、とても嬉しく思いました。客層は小学生・近所のおじさん、おばさんが多く、中学生・高校生は少ないようです。また親子連れで見える方も多くあります。中・高生にも来店して頂けるように工夫したいと思います。

近所の方々から、「野菜などを置いてはどうか」「禁煙にした方がよいのではないか」などの様々な意見も寄せられました。そのような意見も踏まえて、今は野菜や遊佐町の特産品も売っています。竹炭のマドラーは庄司さんに提供して頂き、店でもとても好評です。店には募集していた遊佐町のイメージキャラクターなども飾られ、開店当初に比べ雰囲気はより明るくなりました。

店は十二月で終わりとなりますが、地域の方々にはこれからも遊佐町を盛りあげてほしいと思います。イメージキャラクターも決まりましたので、それを中心に遊佐町をさらに活性化させてください。



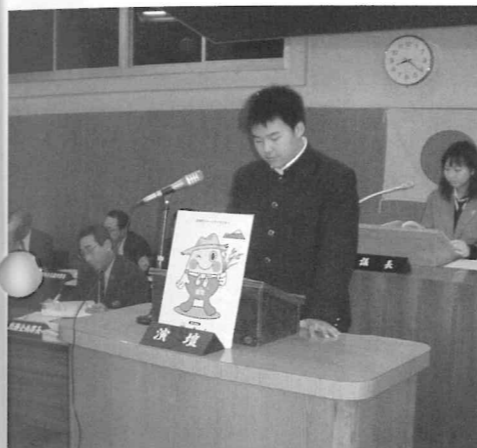
●第6回少年議会風景(遊佐町役場議事所にて)



●イメージキャラクター「米〜ちゃん」を町に提言

少年議員

## 遠田 一行



私は、少年議員の遠田一行です。私は今回、同じ少年議員の黒島君と池田助役とともに遊佐ロックを企画しました。

何故、私達が遊佐ロックを企画したかという、一つは個人的なもので、「このイベントに出場したい」というものと、前回のイベントに出場した人から「おもしろかった」とか「楽しかった」という言葉を聞いたからでした。あとは、この遊佐町を音楽がある町としたいというのがあります。定期的にすればそれなりに人が集まり人や物の交流が生まれると思います。

このイベントを開くことにより前にも書いたように人や物の流れができ、町が活発になると思います。イベントを起こすことにより多くの若者が集まるという利点があります。今、現在私達は、出場者を募集しています。期限は11月10日までとなっています。そして、今後早いうちに業者と話をしようとしています。

僕は今後もこのイベントを続けてほしいと思います。やはり継続的につづけるとこでもあつまり、街の重要なイベントにもなると思います。このイベントの成功を第一歩にしていきたいです。

少年議員

## 遠田 美由紀



私は、商店について述べたいと思います。まず、この少年議会の店、カフェ・ラ・オタムを始めた理由は、商店街ににぎわいをもたせ、若い人がもっと集まってくるようにしたかったからです。現在、遊佐駅周辺のもっともにぎわいのあるべき商店街は、シャッターがしまっている店が多く、また人通りもまばらです。このような状況を改善したいと思い、シャッターの閉まっていた店を借りて自分達の店を開き、その店に客を呼びこむことで、人の動きを増やし、町を活発にしようとしたのです。

そして、店のオープンに向け、9月から準備をしていましたが、店を作るということは思った以上に大変でした。メニューを決め、食器・家具などを借りてきたり、買って来たりし、また、店のそうじや、ディスプレイなど、オープン前にはおそくまで残って作業をしていました。そして、オープン前の準備も大変だったのですが、オープンしてからは、もっと大変でした。保健所の許可の関係で、軽食の作れる物の幅が少なくなったうえに、一度に作れる物の数が制限されてしまい、自分達が思う様に物を出すことができませんでした。また、土日の営業に

学校行事などが重なり、店に出れない人が予想以上に多く、人手がたりなかった。というのが一番大変なことでした。

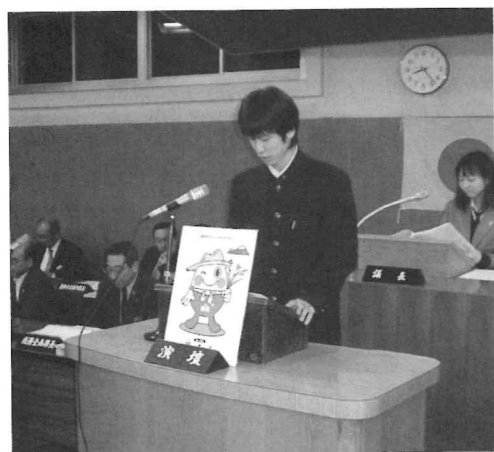
結果的には、毎回お店にたくさんの方が来てくれていて、売上げも、上がってきています。またいつも来てくれる近所の方や、小学生がおいしい、安いと言ってくれ、笑顔で帰っていく姿を見るとすごくうれしくなります。

いろいろ大変なことがありましたが、この店が好きになったし、やっていてだんだん楽しくなってきます。だから、12月まで町の人と協力しながら今まで以上に店を活発にし、町民に親しまれる店作りをしていきたいです。

そして、この店を今回だけのものにしなくて、これからも長く続いてほしいし、町も、若い人が集える場所の提供や、商店街の活性化に力を入れてほしいです。

少年議員

## 黒島 龍之助



こんにちは!少年議員の黒島です。私は遊佐ROCKの企画を担当して活動しています。なぜ、遊佐ROCKという文化イベントをやりたいと思ったかという、町おこしとかそういうこと以上に、昨年の止まらない終わらない遊佐に実際に一つのバンドとして参加して、「面白い!もっと面白いものを作りたい!」と思ったからです。

もちろん、私の個人的な感情以外にも、町の人々の音楽を中心とした文化に対して敏感になったり、親近感を持ったりするきっかけを作ったり、毎年続けていけば、アマチュアバンドの定期演奏会にすることもできます。

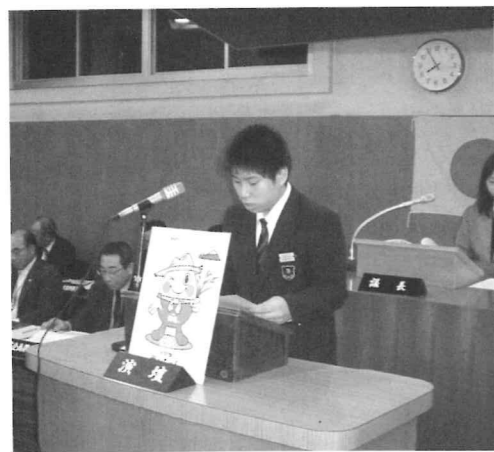
さらに、このイベントを通すことで、様々な方面で色々な方と交流を持つことができ、若人であれば、将来の方針を決定していく時の参考になっていくでしょう。

現在、私たちイベント担当は、イベントの参加者を募集しています。期間は今月の十日までで、今、ラストスパート中です。

今後、当日に向けて、更に忙しくなっていってしまうかもしれませんが、昨年の経験と自分の愛情と、皆の協力で、大成功のラストを迎えられるよう、頑張っています!

少年議員

## 佐藤 翔大



なぜ今年の少年議会で少年議会だよりを、発行することになったかというと昨年度の「少年議会で何をやっているのか、どこでやっているのか」などの意見が有権者からたくさんあったからです。ですから、今年の少年議会で有権者からあった意見を入れて少年議会だよりを発行することにしました。内容では、今年の少年議会でやっている活動、昨年度の少年議会の活動、そして今年の少年議会で企画したこと、の宣伝など書いています。

それにあって、つらかったことや、難しかったことはたくさんありました。まず、どうやら中高生や地域の人達が見てくれたり、興味を持ってくれるかということから始まりました。これがなかなか難しく、何度も何度も村井さん、土門さん、本間さんに聞いたり、考えたりしました。やっとのことでそれが決まり次に内容のことを班で、話しました。内容はあっさり決まり、その内容の文章を考えることになりました。文章ができあがり、パソコンに文章の打ちこみをしました。これが大変でよく学校が終わって夜7時~9時まで役場で何回も活動をし

ました。今思えば5回以上役場に行ったと思います。パソコンに文章を打ちこみ印刷してそれをまとめるのがとても大変でした。少年町長や少年議員に集まってもらい必死に半日ぐらいかけて作業しました。頑張って作った少年議会だよりを中学校や各高校に配布しました。中学校には配布したところ最初はみんな興味を持って見ていましたが、時の立つにつれ少年議員のことを忘れていく人もいました。でもある高校では少年議員のことを興味を持ってくれた人がいました。

残りあと2回あるので、この2回で中学生や高校生、地域の人達に今以上に知ってほしいと思います。残り少ない活動を頑張っています。また、少年町長、少年議員の店カフェラおーたむのお店の状況、きてくれたお客さんの声などを中心に記事にしたいと考えております。遊佐町議会報や広報をつくっている皆さんから今後の指導をよろしくおねがいします。

【有権者が望む政策・私の政策】

平成16年12月26日●  
第13回少年議会

少年町長

## 赤塚 縁



昨年は議員、今年は町長としてこの活動に参加することができて、本当に良かったと思います。今年は昨年の反省でもあった、「少年議会の活動を知ってもらう」という課題を議会だよりの発行等により改善することができて良かったです。そして昨年に引き続き、音楽イベント「遊佐ロック」を開催することができました。出場バンド数は減ってしまったものの、来場者は昨年より多く、1期で築いた土台が少しずつ実を結んできたのだと感じました。また、イメージキャラクターの決定や、少年議員の店等、大変中身の濃い活動ができたと思います。特にショップに関しては、初めは全く何も分からず大変なこともありましたが、ショップを通じて地域の方とより関わる機会も増え、色々な声を聞くことができました。また、私達の活動内容を知ってもらう良い場にもなってくれました。

この活動に参加しなければ出会えなかった人や、できなかった経験が多々あります。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

次に、今後の少年議会には、私達以上に地域の方と関わってほしいと思います。具体的なものとして、今年初めて行われたイベント「ゆざこいソーラン祭」のお手伝いをぜひしてほしいです。私も町のイベントに参加してこの町の地域性を知ったので、こういったイベントの裏方を手伝えるのは非常に大切なものだと思います。それから、これは町に対する要望でもあります、町で起きている様々な問題等に対しても、少年議会としてもっと積極的に取り組んでほしいです。そしてそれらの活動を通じ、町をもっと好きになってほしいと思います。色々大変だとは思いますが、次もぜひ頑張ってほしいです。

最後に町に対しての提言ですが、まずこれは私が直接周りの人に頼まれたことなのですが、昨年設置したバスケットゴールの近くに電灯をつけてほしいということです。日が短くなってしまうと、すぐに暗くなってしまい、シュートも打てないということです。ですからどうかこれを私の最後のお願いとしてぜひ叶えていただきたいです。お願いします。

それから合併問題についてですが、私は合併によって遊佐町がなくなってしまうという風に思っていたので、離脱と聞いた時は正直な所嬉しかったです。確かに合併することによる利点もあったでしょうし、離脱によって苦しくなる面もあるでしょう。ですが、遊佐町が遊佐町であったからこそできることがたくさんあると思います。この少年議会や「ゆざこいソーラン」もその1つです。これらのものは遊佐の地域性のゆけで実現できたものです。合併したからと言って、それらがなくなる訳ではないかもしれませんが、ですがそれは最早私達遊佐町の地域性ではないのです。

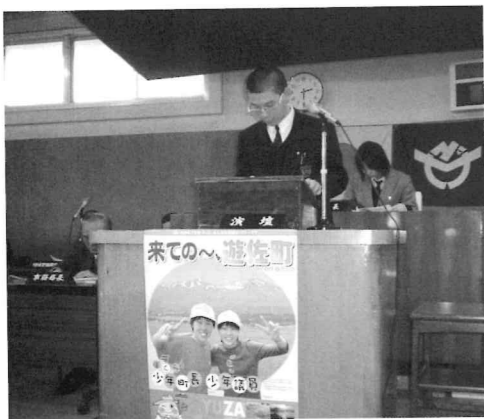
それらをなくしてする合併が、そんなに大切なものなのでしょうか。

また、私はよく「遊佐町の若者の将来のため」「子供達の未来のため合併すべき」といった言葉を目にするのですが、これに強い疑問を感じます。このように言う人達は、では実際に若者に合併に対して聞いたことはあるのでしょうか。私は今まで新聞記者以上の人に合併に対して聞かれたことも、自分の将来のために賛成と言った記憶も全くありません。ではこの意見はどこから出てきたのか、とても不思議です。

私達の声も未来も私達の物です。普段よく聞きもせず、こういった時ばかり私達の存在を認め、使うのはやめてほしいです。有権者の意見にも、合併賛成より反対の意見の方が多くありました。このような若者の声を届けるためにも、この少年議会を続けてほしいと思います。そして、少なくとも私は合併に対して小野寺町長の出した結論を信じています。以上です。

少年助役

## 池田 裕紀



私が少年助役となり活動してきたこの6カ月間、精一杯頑張ってきましたが、就職活動との兼業が、思った以上に大変だった為、議会での仕事がおろそかになり、私が中心となり活動する事が出来ませんでした。しかし、その中で少年議会の活動には、出来るかぎり参加してきました。それは、一般の中高生には、体験する事の出来ないような行事に参加出来たり、学校では学ぶことの出来ないような、人と人とのつながりや、その大切さを自然に学ぶことが出来るからです。山形ふるさとCM大賞や、少年町長・少年議員の店が、とても良い例だと思います。それに、普段あまり接する事のない中学生や、社会人の方々の意見を聞くことの出来る場でもあります。まさに少年議会は、私にとっての第2の学校のようなものだったからです。

次に、来年なられる少年町長・少年議員の皆さんには、第1期・2期少年議会の際に行った、音楽イベントの継続と、地域の活動に積極的に参加して頂きたいと考えています。

それに、皆さんが立候補の際にかかげる提言を、他の議員の皆さんと話し合い、さらに良いものとし、そしてそれが実現するように頑張りたいと考えています。

最後に、私が考える合併について意見を述べたいと思います。最近では合併×2と、世間では騒がれていますが、合併するお互いの市を、どれくらい知っているのでしょうか。はっきり言って、私は全くと言って良いほど知りませんでした。その町について知る機会も無ければ、知ることのできる行事もほとんど無かったからです。私からしてみれば、その町についてあまり知らないのに、合併に賛成か反対かと問われても、賛成する理由も、反対する理由も、すぐには答えを出す事が出来ず、すぐ迷ってしまいました。すぐ合併するのでは無く、まずは、お互いの町の良さや、欠点を知り、助け合っていくことが大切なのではないでしょうか。仮に、経済的に困っているとすれば、合併してしまえば簡単なのかもしれませんが、しかし、その苦しいなかでどれだけ助け合えるかの方が、大切なのではないでしょうか。それから合併を考えても遅くないと思います。私に出来る範囲であれば、手伝わさせていただきます。

少年議員

## 伊藤 彩夏



少年議員の伊藤彩夏です。私は、少年議員になって、たくさんの遊佐の中高生の考えが自分と同じ意見だという事が、わかりました。みんな、遊び場所の設置やイベントの企画など、考える事は一緒なんだなあと思いました。来年度も、遊佐ロックなど、たくさんのイベントを企画して欲しいと思います。

また、私は議員の活動で、盆おどりのアナウンスをがんばりました。夏っぽく、浴衣を着てみたり、少し緊張もしましたが、ハキハキと喋る事ができたと思います。近所の方に、『高校生の若々しさが、あふれていて良かった』『聞いていて楽しかった』など、ホメてもらい、やってみて良かったとすごく思いました。でも、するならば、もっと事前に原稿を渡してほしかったと思います。そうすれば自分なりに考え、もっとユニークなアナウンスをする事ができたと思います。もし、来年度も、少年議員がアナウンスをするのであれば、事前に原稿を渡しユニークなアナウンスができる事を期待しています。

また、私は来年、東京に上京します。その前に、遊佐町にかかわる事ができて、とてもうれしかったです。このような貴重な経験をさせていただいた事を活かし、これからも、活動的な人間でありたいと思います。

少年議員

## 庄司 真希



私は少年議員活動の今までをふり返って本当に貴重な体験をすることができたと思っています。議員活動に参加できなかった日もありましたが、少しは町に貢献できたかなと思っています。まず印象に残っていることは、町の盆踊り大会の司会をしたことです。私は人前で話したりすることが苦手な緊張していたのですが、友達からのアドバイスや応援により楽しみつつできたし、大成功に終わったと思います。その司会は町長にもほめて頂きとても嬉しかったです。

次に本物の議会形式で行った議会です。私達の出した意見が本物の議会で話し合われて遊佐町を少しでも活気づけられる良い話し合いができたと思っています。この議会を行った後、私はもっと遊佐町を知り遊佐町のことをもっとみんなに知ってもらいたいと思いました。

私は少年議員になって今まで知らなかった部分の遊佐町を知り感じたことがあります。

まず自然のことです。遊佐町は緑が多く自然が豊かです。しかし脇道などに目を向けてみるとごみが捨てられていることがあります。このような少しのごみが自然を汚すことになると思うので一人一人もっと自然の大切さを考えてほしいと思います。あと最近物騒な事件が増えています。特に小・中学生の帰り道は街灯がない暗い道は大変危険だと思います。なので安全で住みやすい町にするために暗い道には早く街灯をつけたほうが良いと思います。そうすれば町の人達は安心できると思います。

最後に少年議員という遊佐町特有の活動をすることができ、本当によい経験ができたと思っています。きっと自分の将来で役立つ貴重な体験ができました。第三期の議員の人達にもがんばってもらい、自然を大切に、もっとよい方向に遊佐町を変えていってほしいと思っています。今までありがとうございました。

少年議員

## 遠田 美由紀



少年議員の遠田美由紀です。私は今年の第二期に初めて少年議員になり、約半年活動してきました。

半年という、とても短い時間の中で、私はとても多くのことを学ぶことができました。例えば、遊佐町内の行事に多く関わらせて頂きましたが、今まで知らなかった物がいくつかあったし、知っているものでも、参加したことがないものがほとんどでした。なので、このように参加できたことは、すごくうれしかったし、遊佐町を再発見できたと思います。行事への参加の他に、遊佐ロック2nd・少年議会の店、カフェラおーたむを開くことができました。一番最初の所から、自分達で考えていくことは、とても大変でした。けど、お客さんが笑顔でいるのを見ると、とてもうれしくなり、「やってよかった」と思うことができました。また、私達の活動は、町内・地域の方々から支えられているのだと感じました。

そして、次の少年議員の人達にも、ぜひ店をやってほしいと思います。大変だけれど、それ以上に、学ぶこと・教えられることがあります。また、少年議会の活動・存在が一番良く見えるし、地域の方と、町や町内の行事、団体をつなぐ所にもなっていると思うからです。その他に、町内の行事にも積極的に参加し、もっと遊佐を知ってもらい、今まで以上に遊佐を好きになってほしいです。そして、若い人達で、遊佐町を支えていきたいと思っています。

最後に、町に提言したいのは、もっと町内の行事、団体について、町民にはもちろん、全国へむけて発信するべきだと思います。町内に何年も住んでいるのに、町内の行事をよく知らない。行事に参加したいが、行きにくい、よくわからない。という人が私の周りにけっこういます。だから、もっと情報提供の場を増やし、遊佐町をもっと身近に感じてもらえるようになりたいです。そして、町民みんなでもっと良い町にしていけたら良いと思います。

少年議員

## 黒島 龍之助



自分は、少年議員の黒島龍之助です。

今回、今年一年間を通しての少年議員の活動のまとめということで、作文を書くことになりました。そういうことで、今「一年間色々あったなあ…」とふり返りながらこうして文字をつづっているところです。

今年は、全体的に見て、大変忙しい年だった、と言えます。高校入学、勉強、友達、部活、音楽に読書。その他にも色々やっている中での少年議員で、あっち行ったり、こっち行ったりと、本当に忙しい年でした。しかし、それ故に、今までにない、非常に有意義な年になったと言えます。一つ一つ、その思い出をあげていくとキリがないので、主なものをあげたいと思います。

一つは、自分の公約でもあった、遊佐ROCK~2nd~でした。自分は、昨年よりも、大々的なイベントにしたいと言ってやった活動でした。結果から言えば、個人的には失敗だった

と見ています。参加バンドは4バンドで、直前で色々な変こうがあったりして、昨年とほぼ同程度か、それ以下になってしまいました。しかし、来客数は昨年よりもアップしていました。

これは、遊佐町にこのイベントが定着しつつある前兆だと思います。続けていけば、すぐよいイベントへと発展していくはずだと、ということで、来年に期待したいと思います。

さて、二つ目は、カフェ・ラ・おーたむの開店でした。この開店により、自分の休日の過ごし方(忙しさ)が、ガラリと変わりました。今までは、部活だけだった自分の休日が、おーたむの仕事というもう一つの用事ができることになったのです。

大会が近くなると、どうしても部活をはずせなくなるので、他の人には不真面目なヤツと思われていたかもしれません。(まあ、それは午後行くとか伝えていなかったからかもしれませんが…)。この忙しさが、自分が今日をどう過ごすか、という思考力を強化してくれたように思います。

自分は、今年いろんなことがありましたが、なによりも、出会いが重要な位置にあると思います。少年町長、議員、活動でたずさわった人々。その他にも、私生活で、たくさんの人々に会いました。そういうたくさんのお出会いは、自分にたくさんの縁をくれました。そういう縁は、これからの自分にいろんな影響をあたえてくれるはずだと。

そんな縁をくれた人々に、自分は感謝の言葉を述べて、この文をしめようと思います。「ありがとうございました。」

少年議会副議長

## 佐藤 永里



私はこの七カ月間少年議員として活動し、普通には経験できない様々な事を体験することができてよかったと思います。

例えば私が印象に残っているのは、遊佐町の合併五十周年記念イベントへの参加や、ソーデーマーチでのエールです。これらは私にとってとても貴重な経験だったと思います。大勢の人の前に立つことはとても緊張しましたが、無事に行事を終えることができほっとしました。どちらのイベントでも、遊佐町を訪れてくださった方々とたくさんいろいろな話ができて、勉強になったと思います。

また、町のイメージキャラクターも決まりました。これによって遊佐町のイメージがより明るくなるはずだと。米~ちゃんと共にポスターになったことや、CM大賞への出演は私の一生の記念になりました。

私は最初、政策の提言をして、それを実現するという試みにとても不安を感じていま

た。特に、少年議会による喫茶店を開くのはとても心配でした。ですが、多くの方々の協力により無事にオープンすることができました。接客の仕方や店での動きの流れなどもだんだんとスムーズになり、やっと慣れてきた頃の閉店でとても残念に思っています。近所に住む方々をはじめ、多くの町民の方々に様々なアドバイスを頂き、それによって店の雰囲気も明るくなりました。このことから、少年議員の店は運営に携わる人たちだけでなく遊佐町に住む多くの人に支えられていると感じました。これは、私が少年議員をしてよかったと思う一番の理由です。

遊佐町は人と人との交流が盛んな町であると思います。私はこのことを店での活動を通して、改めて実感しました。お客さんは積極的に私たちと話をしようとしてくださり、小学生ともすぐに仲良くなることができました。また、常連のお客さんもたくさんできました。だんだんと人と人との関わりが少なくなってゆき中で、こんなに人とのふれあいがあることはとても素晴らしいことであり、この町の大切な財産だと思っています。

私は、私の大好きな遊佐町をより多くの人に好きになってほしいと思って少年議員に立候補しました。七カ月間の少年議員としての様々な経験を通じて、私自身、遊佐町のよいところをたくさん見つけました。その一部は少年議会だよりなどにより町民の方々に知って頂けたと思います。私が見つけた他にもこの町のよい所はたくさんあるはずだと。町民の方々には自身でそれを発見して大切にしていってほしいと思います。また、その手助けを次の少年議員にお願いしたいと思います。今までお世話になった皆さん、大変ありがとうございました。

少年議員

## 佐藤 翔大



私は少年議員の佐藤翔大です。私はこの一年間少年議会の活動を通して学んだことや楽しいことがたくさんありました。私は情報提供班として、少年議会だよりを作ったわけですが、期間が少なく、3回しか出すことができませんでした。でも、今年度の少年議会だよりを出したことで昨年度と今年度少年議会で行ったことを少しでも小中高生や地域の人達にわかってもらえたのでよかったです。もう一つ情報提供班で出た目安箱の設置ですが、時間などが足りなくてすることができませんでした。自分とてもくやしくてとても残念だと思います。少年議員でやった、イベント、奥の細道鳥海ソーデーマーチでのエール、少年議員の店Café la おーたむ、町民盆踊り大会への参加、少年議員でやったフリーマーケット、売店の手伝い、神鹿角切り祭への参加、遊佐町のイメージキャラクター、ふるさとCM大賞など普通はできないことをたくさんすることができました。ぜんぶ初めてで、最初はもうどうしたらいいのかわかりませんでした。でも、少年議員の人と一緒に協力してすることが

できました。今まで少年議員をやってよかったと思います。自分の目標していたことができなかったけどたくさん地域の人と交流することができたのでとてもよかったです。少年議員をやって一番よかったのは、少年議員の店Café la おーたむで子供が「おいしかった」と言うことを言ってくれた時には、すごくうれしかったです。これからも少年議員をやってみたいという気持ちがいっぱいあります。今までほんとうにありがとうございました。

第三期少年町長少年議員に伝えたいことは、たくさん地域の人と交流をして、まだ知らない遊佐町を知ってもらいたいと思います。有権者からあった意見をたくさん実現してほしいと思います。最初は、知らない人と話すことはむずかしいと思いますが、頑張ってください。

私は遊佐町へ提言したいことは、この少年議会をずっとしてもらいたいと思います。まだ知らない遊佐町のことがあるので中高生に知ってもらい、全国に遊佐町少年町長少年議員を知ってもらい遊佐町をいろんな人との交流をしてもらいたいと思います。遊佐町はあまり知らないこともあるのでイベントなどやって、楽しく盛りあがる遊佐町にしてほしいと思います。

遊佐町の合併についてですが、私は反対です。おもに理由は酒田と合併すると今まで遊佐町で昔からやっていたイベントであるソーデーマーチなどがなくなってしまうからです。私は遊佐町のイベントがとても大好きなのでこれからも合併の話ができる時がありますが、ぜひ遊佐町は合併しないようにしてほしいと思います。

少年議員

## 佐藤 里沙



私が少年議員として一番頑張った事は、「カフェ・ラ おーたむ」の経営です。初めてお店の中を見た時は正直、「本当にお店なんかできるのか!?!」と思いました。ですが、みんなで集まり掃除をしていくと、しだにお店らしくなっていく、私自身もすごく楽しくなってきました。

何もなかった店内は、遊佐町の特産物が置かれたり、だ菓子が置かれたりし、それを買って来てくれる人も多くなりました。

10月から12月25日までというとても短い期間でしたが、「自分でお店をやる」という普通の中学生ではできない体験ができました。お金があわなかったり、当番の人が来なかったり、たくさん問題があったけど楽しいことはそれ以上にたくさんありました。このお店をやりはじめた理由の一つでもある、「商店街の活性化」も、土日だけではありましたが、小学生が友達や家族と来てくれたりと、少しは遊佐町の商店街ににぎわいをもたらすことができましたと思います。

しかし、小学生は多く店に来てくれたのですが、私達と同世代の中学生や高校生はあまり来てくれませんでした。なので、次の少年議会でこのような活動をする時には、中学生・高校生がもっと来てくれるように工夫していきたいと思います。

私が今回少年議員をやった残念に思うことが一つだけあります。それは、今日までに少年議会が全員集まった日が一日しかないということです。みんなそれぞれ忙しかったかもしれませんが、自分からやると立候補したのだから、少し用事があっても都合をつけて参加するべきだと思います。そして、それを改善するためには、役場で応募の広告を配る時に何度も集まる事を書いておきたいと思っています。

最後に、私はこれから遊佐町はあいさつがきちんとできる町になってもらいたいと思っています。

「あいさつができる町」というのは私が初めの政策提言でのべたことです。ですが、少年議員としてこの政策にきちんと取り組むことができませんでした。学校では生徒会としてあいさつ運動をしていますが、やはり、町全体であいさつをするように心がけることはとても難しいと思います。ですが「あいさつ」はできて困ることはないですし、なにより、町全体でやる価値があると思います。なので遊佐町全体であいさつに力を入れていってほしいと思います。

7か月という短い時間でしたが、この7か月で、とてもきょうが体験がたくさんできました。忙しい事ばかりではありましたが、私の人生でこんなに楽しい7か月は初めてだと思います。この少年議員をやったことをこれからの人生に役立てていきたいと思っています。今まで本当にどうもありがとうございました。

少年議員

## 遠田 一行



僕は、少年議員の遠田一行です。僕は今年始めてこの企画に応募しました。この企画の中で僕が一番やりたかったのは、昨年に行われた「終わらない、止まらない2003」のような音楽イベントでした。僕は昨年受験のために「終わらない、止まらない2003」に出場できなかったの、ぜひ出場したいと思ったし一度はイベントを企画してみたいと思ったので参加してみました。

企画をしてみて思ったことは、意外と人を集めるのが大変だったということでした。

イベントを聞く時一番考えるのがどのくらい人が集まるのかという所です。イベントを開めるにあたり、チラシをまいたり、ポスターを作ったり人を集めようと努力をしましたがなかなか集まらなかったと思いました。だけど、昨年よりは集まったということでした。バンドを集めるという事については自分自身のバンドを含め5つ集めることができました。しかし前回より集まりが悪くもっと改善が必要だと思いました。前回のイベントの責任者の佐藤慶さんの

力量がとてもよく分かりました。バンドを集めるということは人脈が必要なのかと思いました。

業者さんとの話し合いについてはもっと早い時期に話し合う必要があったのだと思いました。

全体的に見ると成功といえるのだろうけどもっと良くなるイベントだと思うので、後にこのイベントをやるという人はこの点に気をつけると思います。

次にこの議会の中での活動についてですが、この議会では普通できないような経験をさせてもらいました。松林のそうじ、松の植林、では、今の松林の状態と林を守ろうとする活動の事を知ることができました。また神鹿角切祭では伝統ある行事に参加することができました。ツーデーマーチでは、始まりのあいさつをさせてもらいました。

遊佐町の盆おどり大会への参加では、大学生や一般の方々の色々な形のおどりを見ることができました。

そして全てを通し思った、考えたことは、一つのイベントにはとても多くの人々が関わっていて、その人々の誰もが大切な役割についているということです。いつも何気なく見ているイベントの数々には多くの人々が関わりその人達の苦勞によってできているという事がとても心に

残っています。この議会はこれで解散という事ですが、ここで学んだ事は自分の人生にとって大きなプラスになると思います。もし次の議会があるのなら、次に議員や町長になろうという人が僕と同じことを感じてくれれば良いと思います。

少年議員

## 土門 加代子



私が少年議員に立候補し、実際に議員の一員になってから、早くも半年が過ぎました。振り返ってみれば、本当に短い期間だったと思います。今思うと、初めは本当に気楽な気持ちで学校の先生の「やってみないか?」という言葉に返事をしてしまったのでした。もちろん少年議員がなにをしているのかも知らなかったし、遊佐町にどういったかわりを持っているのかも知りませんでした。

実際に少年議会に参加してみて、本当にすごいなあ!と関心しました。有権者の皆さんの意見の取りまとめをした意見発表などは、同じ学生としての意見とは思えないほどで、すごく勉強になりました。それから、ツーデーマーチ・盆祭りなどの地域や、地域にとらわれない活動。他にも、昨年に引き続き行われた遊佐ロックの開催、今年から発行された少年議会だよりなど、直接かかわるものから間接的なものまで、大小さまざまな活動をしていることを知りました。特に、少年議員で運営した「カフェ・ラ・オータム」の実現は、本当に驚かされたし、そこに住む方々との交流も楽しかったです。それに、私は本当にこの町のことを

知らないんだ。という事もわかりました。今年度実施した、遊佐町のイメージキャラクターもその一つで、遊佐町にイメージキャラクターがなかったのも知りませんでした。なので、今年沢山の応募の中からそれが決定し、本当に良いキャラクターが誕生したと思います。

今更ですが、私は町や少年議員というものに本当に興味がなかったし、立候補したのも「落選したらそれで良い」それくらいの軽い気持ちでした。しかし、現実には全く想像に反していました。「こんなに大事になるなんて…」と、気軽に返事をした自分を何度も腹立たしく思ったり、「もう嫌だ」と思うことは多々ありました。けど、有権者の皆さんの意見をきいたり、実際に意見を出し合い、行動にうつしているということを経験し、活動を通して「こんな私でも、この町にかかわることが出来るんだ!」ということを知ることが出来ました。自分のこの町への考えも改めてみる事が出来ました。このような体験は、多分これから私が生きて行く上でないだろうし、同時に、今後の社会生活に良い影響を与えてくれたと思います。本当に貴重な体験をありがとうございました。そして、このような体験が出来る場所を、これからも長く続けてほしいです。

少年議会議長

## 狩野 未来



私は少年議員の狩野未来です。つい先日まで少年議会の活動をしていたので、ずっと突っ走ってきましたが、振り返ってみると、昨年には負けなくらい多くの活動をしてこれたなあと思います。今年は、前回出来なかったことや新しい取り組みを多く実現することが出来ました。例えば、少年議会の店や遊佐町イメージキャラクターの作成、クロマツの植樹、そして少年議会だよりの発行です。そのどれもが、少年議員であったからこそ出来た経験であるし、その根底には「遊佐町をより良くしたい」という想いがあったからこそ、休日を返上しても頑張ってきたのだと思います。その甲斐あってか、昨年よりもずっと多くの方々に「遊佐町」を知っていただけました。町外に住む友達には「遊佐って面白い事ってるよね」と言われたり、昨年「少年議員って意味ねあんで」と言った祖父が、今年は「すごいぞやったんの」と言ってくれました。私自身、最高に充実した日々を送ることが出来ました。半年だけの任期期間を最高のものにしてくれたのは、第二期メンバーと活動してこれたからだだと思います。そしてなにより、そんな中高生の意見を汲み取って、実現を可能にして下さった町長をはじめとする関係者の皆様のおかげだと思っています。とても有意義で充実した一年を過ごすことが出来ました。本当に有り難う御座いました。

さて、第3期少年議会の皆さんにも、満足のいく議会活動が出来るように頑張りたいと思います。第一期と第二期ではしてきた活動の種類が違うように思います。第一期では特に、街灯やカーブミラー、バスケットリングの設置といった整備・設備をよくして安心・安全な町づくりをしてきましたが、第二期では、少年議会の店や遊佐町イメージキャラクターの作成、ふるさとCMの出演など明るくて楽しい町づくりをしてこれたように思います。この違いは、そのときのメンバーのやりたいこと、つまりは「やる気」によってがわってくるのだと思います。ですから、第三期少年議会のみんなには、是非自分のやりたいこと・やる気をもって活動してってください。やる気があれば、なんでも出来るようになると思います。遊佐町の良さを再確認して、日本で一番大好きな町となれるように頑張りたいと思います。

少年議会も第二期になってからは、まちづくり研究所の「ゆざねっとわーく」そして「子育てフォーラム」に参加し、少年議会の活動を報告したり、合併50周年記念式典では、受付案内や調印式のお手伝いといった、多種多様な場所で活動する機会が多くありました。来年以降はきっと今年以上に、様々な活動に参加していくんだろうと思っています。これからの少年議会がどんな活動をしていけるのか、非に楽しみにしているのですが、もし合併をしていたら、それすら考えることなど出来なくなってしまうかもしれません。合併すると、私が今年活用させていただいた日本福祉大学の自治体推薦、少年議会もゆざねっとわーくまでが白紙になってしまうのです。良いところを残す合併ならば賛成ですが、遊佐だから出来る特色が失われてしまうのなら町民のためにはならないと思います。

私はどうしても少年議会を残してほしいですし、少年議会は遊佐町の誇れるもののひとつだと思うのです。少年議会がこれからもずっと続いていけば、若いうちから政治に関心をもつようになり、今以上に若者が町づくりに参加すると思います。そして、大人と子どもがともに町をつくっていけるのではないのでしょうか。

少年監査委員

## 小田原 茜



私が、少年議員として活動したなかで一番心に残っているのは、私が少年議員として、そして一遊佐町民として初めて参加した、第35回町民盆踊り大会です。

盆踊り大会は、私が生まれる前からあったそうなのですが、全く知らなく、今年の参加が初参加となりました。初参加が少年議員としてなので、楽しそう、という思いより大丈夫かなあという思いの方が大きかったです。盆踊り大会自体の仕事は店のお手伝いと花笠音頭を踊るだけなど、簡単に思えるものでしたが、実際やってみると、とても大変でした。今まで行ったことがなかったからか、人は大してこないと考えていましたが、想像していたよりもすごい人数が来てとても驚きました。かき氷、やきとり、こんにやくなどを売る売店を手伝わせていただいたのですが、売店のうしろに座る場所があるからか、休む暇もないくらいに忙しかかったです。

お店のお手伝いが終わり、次に花笠音頭を踊るということでした。それは売店のお手伝いよりは簡単なのですが、私はその日まで花笠音頭を踊ったこともなかったので、売店の手伝い並につかわれてしまいました。

遊佐にはこの盆踊り大会や鹿の角切り祭のように古くからの伝統行事があります。この伝統行事を絶やさぬように、そして古きを学び新しきを知り、遊佐町の活性化と共に伝統を守っていくことが私たち少年議員だけではなく、遊佐町民の役目だと思います。

私が次の少年議員に伝えたいことが一つあります。それは、伝統行事を大切に、ということです。今年度も有権者の意見の中に、遊佐町を都会にしてほしいというものがありました。勿論この意見は、素晴らしいと思います。しかし、都会になるということは伝統が段々となくなってしまうのではないのでしょうか。だから私は伝統を大切に、ということ伝えたいです。

私が少年議員として遊佐町の役にたったかはわかりません。でも、少年議員になって本当によかったと思いました。

少年議会事務局長

## 中島 ゆき



振りかえってみると、私が少年議会議事局長になってから早くも半年が経ちました。長いようで短かったこの半年間には、いろいろな事がありました。ツーデーマーチの開会式での掛け声や、有権者の意見の取りまとめ、遊佐町のイメージキャラクターの応募、決定。角切り祭、Café la おーたむの開店、営業開始、松の植林など、様々な行事がありました。その中でも、一番印象に残った行事は、遊佐町のイメージキャラクター決めと、Café la おーたむの営業です。遊佐町のイメージキャラクターを決める時には、色んな学校や地域の人からキャラクターを募集して、たくさんのキャラクターを考えてもらいました。中にはそのキャラクターのくわしい説明や特徴を書いてくれる人達も多くいて、真面目に考えてくれてるんだなあと思い、とても嬉しかったです。またキャラクターが決まって、そのキャラクターもかわいいのに決まって良かったです。それから10月にオープンした、Café la おーたむは、最初はお客がきてくれるか心配だったけど、思った以上にお客がきてくれたので良かったです。その中には、何回も来てくれる人も何人かいたりしてそれもまた嬉しかったです。少年議員では、普段できない事を体験する事ができるので楽しいです。Café la おーたむみたいに、自分達で店を開くなんてめったにできない事なので、とてもいい経験ができたなあと思いました。少年議員の仕事をする前は大変なのかなあと思っていたけど、実際は楽しい事ばかりで、中学生や、ほかの高校生の人達と話し合いがたくさんできて、たくさん学ぶ事が増えました。何より、自分がお世話になっている遊佐町で活動できるという事がとても嬉しかったです。

# 政策予算により実施したもの。

## 植林



## フリーマーケット・盆踊りへの参加



## 遊佐ロック2開催

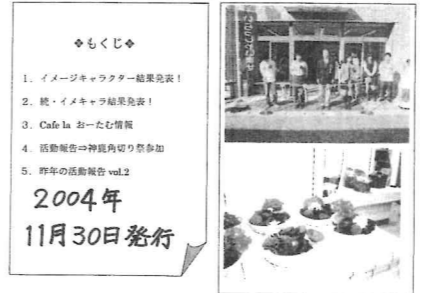


## 少年議会だよりの作成

「自分達の活動をもっと知ってもらいたい」という思いを実現させるため、少年議会では10月から12月まで月1回、「少年議会だより」を自分達で作成、中学校・庄内管内各高校に配布しました。

# 少年議会 だより

〇〇第二号〇〇



## 遊佐町少年町長・少年議員の店 Café la おーたむ

少年議会では、商店街に賑わいを取り戻すため、政策の一つとして遊佐中心商店街の空店舗を利用し「Café la おーたむ」という喫茶店を開店しました。  
少年町長・少年議員がスタッフとなって地域の方々のご協力をいただきながら、企画・運営・会計を自分達で行い、小学生からお年寄りまで多くの方々からご来店いただきました。

開店期間●10月17日(日)～12月25日(土)土・日曜日

営業日数●20日間

延べ来客数●657人

販売●軽食(コーヒーマン・ホットケーキ・米ケーキ・ミックスピザ・エビピラフ・肉まんなど)

遊佐町特産品(竹炭マドラー・へちま化粧水・鳥海山ステッカー・オリジナルトレーナー)



「Café la おーたむ」オープン



「Café la おーたむ」開店中



「Café la おーたむ」閉店

## 遊佐町イメージキャラクター「米～ちゃん」

「遊佐町をもっとPRしてほしい」という有権者の意見を実現するため、少年議会がイメージキャラクターを募集し選考しました。このイメージキャラクター「米～ちゃん」は、今後遊佐町PRのため町内外で大活躍します!



Be-chan  
米～ちゃん

賞	キャラクター名	氏名	所属
最優秀賞	米～ちゃん(ベ～ちゃん)	白崎 愛実さん	山形県立酒田西高等学校2年
優秀賞	なし	村井 優さん	山形県立酒田西高等学校3年
優秀賞	なし	菅原 真子さん	山形県立酒田商業高等学校3年
佳作	遊歩くん(ゆっぼくん)	高橋 明日海さん	遊佐町立遊佐小学校2年
佳作	鳥海くん	石垣 棕子さん	遊佐町立稲川小学校6年
佳作	こめた	伊藤 知明さん	遊佐町立遊佐中学校3年
佳作	ゆざっぺ	渡部 隆さん	会社員
審査員特別賞	ユザ男♂(ゆざお)	佐々木 春佳さん	山形県立酒田商業高等学校3年
審査員特別賞	キャプテンYUZA	池田 健浩さん	山形県立酒田商業高等学校2年

- 募集期間 平成16年9月15日～30日
- 応募総数 528通



審査風景



審査風景

## 第2期少年町長・少年議員

# 少年議会の政策提言により、町が実現したもの

### 防犯灯の設置

上大内地内防犯灯  
工事費892,500円  
ポール 10本  
水銀灯 3基



大楯地内防犯灯  
工事費2,257,500円(9月補正により予算化)  
ポール 12本 水銀灯 7基

### 第27回神鹿角切祭



### 第12回鳥海ツーデーマーチエール



### 遊佐町デザインポスターの作成



少年議会が提言した「遊佐町デザインポスター」を小野寺町長に手渡した。





# 宇賀地小学校の みなさんへ

(少年議会 励ましの言葉集)

平成17年3月4日(金) 「Cafe la おーたむ」売上収益寄付のため、新潟中越地震被災地 新潟県魚沼市立宇賀地小学校を訪問しました。



宇賀地小学校ふたば児童会の皆さんに売上収益寄付と少年議会からのメッセージ集、遊佐町のお菓子を届けました。

## 少年町長 赤塚 縁

あの大きな地震から数ヶ月がたちました。最近はニュースなどでも、新潟県の人達の生活が少しずつ良くなってきているという話を聞くようになり、とても安心しました。

ですが、まだ仮設住宅での生活や、学校できちんと授業ができなかったりと、大変なこともあると思います。そんな中でも、どうか体に気をつけて、家族や友達と皆でこの寒い寒い冬を乗り越えてください。そして、たくさんの人の優しさにふれてください。

つらい中でも、皆さんがどうか笑顔でいられればよいと思います。

## 少年助役 池田 裕紀

私の力では、自分たち自身で、皆さんに義援金を渡すようなことしか出来ず、とても申し訳なく思っています。ニュースでは、大変ななかで地域が一つとなり、頑張っている姿を拝見させて頂き、逆に私が元気を貰っています。

私たちが行っている少年議員は、地域の皆さんに助けられながら、活動しています。地域に住む人同士が、お互い手を差し伸べ、助け合えば、どんなことでも乗り越えられるはず。皆さんの顔から、一つでも多くの笑みがこぼれるように、願っています。

## 少年議会議長 狩野 未来

町でも、なかなか雪の消える気配がありません。ラジオで、桜の開花予定が三月下旬頃である、と言っているのを聞いても、あまりパツとしない感じですね。宇賀地小学校の皆さん、この寒い中、厳しい自然環境の中でも、学校に通い、勉強に励んでいるのですね。本当にお疲れ様です。

皆さんが書いてくれた「いも煮」の感想を読みました。美味しいと言ってくれたそのひとことが、とても嬉しかったです。有難う御座います。

何度も言いますが、寒い日が続いています。体には十分、気を付けて、元気に毎日を過ごしてください。皆さんが、元の生活と同じ暮らしができるように応援しています。



星野芳昭魚沼市長を表敬訪問しました。

## 少年議会議長 佐藤 永里

地震から少し経ちましたがどうですか。私はテレビや新聞で新潟県のことを知り、とても心配しています。私は行くことができませんでしたが、同じ遊佐町の人たちが新潟県でも煮を提供し、それを新潟県の人たちが喜んでくれたことを私はとても嬉しく思っています。

十月に地震が起こってから、かなりたくさんの雪が積もったと思います。まだ寒さが続きますし、仮設住宅での生活も十分ではないと思います。ですが、もうすぐ春がきてあたたかくなります。それまでもう少し頑張りましょう。

この地震でたくさんの大切な思い出の品を失った人も多くいると思います。ですが、今まで育った自分の町での思い出を大切にしてください。これからまた、思い出を増やしていきましょう。遊佐町から応援しています。

## 少年議員 遠田 美由紀

中越地震が起こった時の様子を私はテレビで何度も目にしました。被害はとても大きく、多くの方がけがをしたり、亡くなったりした、という報道を聞くたびにおどろき、恐怖を感じずにはいられませんでした。そしてまた、その地震に負けずに、元気にすごしている子供達がたくさんいると知り、「強いなあ」と感じていました。

地震からしばらくたち、復興が進んだと言っても、まだまだ不自由な所がたくさんあると思います。けれど、そんな事にめげずに、明るく元気に、希望をもってがんばってください。それに、日本中のたくさんの人達がみなさんを応援し、支えてくれています。本当にがんばってください。

## 少年議員 佐藤 里沙

毎日のようにテレビで新潟の様子を目にしています。その度に「私のも何かできる事はないかなあ」と思っていました。なので、このような形で新潟の人達に協力することができてとても嬉しく思っています。

仮設住宅での生活などまだ十分とはいえない環境ですが、私達のように新潟の方々の力になりたいと思っている人がたくさんいるという事ははげみに頑張ってください。

これからも、つらい事などたくさんあると思いますが、めげずに頑張って!!

心から応援しています。

## 少年議員 佐藤 翔大

私は第二期遊佐町少年議員の佐藤翔大です。十月二十三日に起きた新潟中越地震から五ヶ月になりましたがまだ十分な生活をしていない人もいます。宇賀地小学校のみなさん、私はあまり助けることができませんけど、私達少年議会で行ったCafe la おーたむの売上利益を寄付したいと思います。少しでも回復できるように私達も頑張ります。

宇賀地小学校のみんな頑張り!!

ファイト!ファイト!

# 話題をパワーに。

## 少年町長

16日、遊佐町の少年町長選挙が行われ、池田裕紀と赤塚縁の2人が立候補した。投票期間は20日までの3日間。投票時間は午前8時から午後4時。投票場所は、投票所が指定された。20日までの3日間の投票期間を経て、少年町長選挙の最終決戦が行われる。選挙権は、15歳以上の中学生以上。立候補資格は、選挙権を有し、町内に住所を有する。投票方法は、秘密投票。投票時間は、午前8時から午後4時。投票場所は、投票所が指定された。20日までの3日間の投票期間を経て、少年町長選挙の最終決戦が行われる。

選挙公報は、選挙権を有する15歳以上の中学生以上を対象に、投票の仕方や投票所、投票時間などについて詳しく説明している。また、立候補の条件や選挙権の行使方法についても記載されている。選挙公報は、町役場や各中学校に配布されている。

## 議員も選挙戦に

遊佐町 26-30日まで投票  
選挙権を有する15歳以上の中学生以上を対象に、投票の仕方や投票所、投票時間などについて詳しく説明している。また、立候補の条件や選挙権の行使方法についても記載されている。選挙公報は、町役場や各中学校に配布されている。

●庄内日報 2004年5月19日

## 選挙公報

選挙公報は、選挙権を有する15歳以上の中学生以上を対象に、投票の仕方や投票所、投票時間などについて詳しく説明している。また、立候補の条件や選挙権の行使方法についても記載されている。選挙公報は、町役場や各中学校に配布されている。

●庄内日報 2004年5月26日

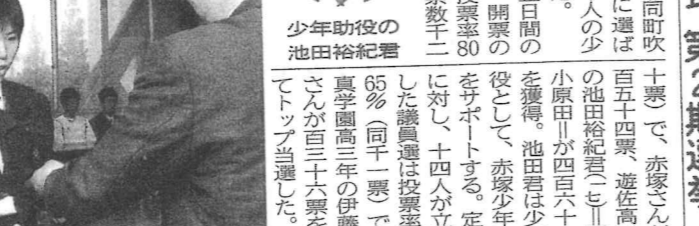
## 遊佐町の少年町長選

遊佐町の少年町長選挙は、20日までの3日間、投票所で行われる。投票時間は午前8時から午後4時。投票場所は、投票所が指定された。選挙権を有する15歳以上の中学生以上が投票できる。立候補資格は、選挙権を有し、町内に住所を有する。投票方法は、秘密投票。投票時間は、午前8時から午後4時。投票場所は、投票所が指定された。20日までの3日間の投票期間を経て、少年町長選挙の最終決戦が行われる。

●読売新聞 2004年5月31日

## 赤塚さん(酒田中央高3年)が当選

助役には池田君(遊佐高3年)  
赤塚さん(酒田中央高3年)が、少年町長選挙で当選した。助役に池田君(遊佐高3年)が選ばれた。投票率は73%だった。選挙結果は、赤塚さんが5票、池田君が4票だった。赤塚さんは、選挙期間中に、町民と交流し、町政の改善を訴えた。池田君は、選挙期間中に、町民と交流し、町政の改善を訴えた。



赤塚さん(酒田中央高3年)が、少年町長選挙で当選した。助役に池田君(遊佐高3年)が選ばれた。投票率は73%だった。選挙結果は、赤塚さんが5票、池田君が4票だった。赤塚さんは、選挙期間中に、町民と交流し、町政の改善を訴えた。池田君は、選挙期間中に、町民と交流し、町政の改善を訴えた。

●山形新聞 2004年5月31日

## 町の未来真剣に提言

遊佐少年議員が活性化策  
遊佐町少年議員が、町の未来を真剣に提言した。少年議員は、町の活性化策として、観光振興や環境美化などを提言した。また、町の未来を真剣に提言した。少年議員は、町の活性化策として、観光振興や環境美化などを提言した。

●山形新聞 2004年8月22日

## 遊佐まるごとアピール

観光ポスターに少年議員  
遊佐町少年議員が、町の魅力をアピールする観光ポスターに登場した。少年議員は、町の魅力をアピールする観光ポスターに登場した。少年議員は、町の魅力をアピールする観光ポスターに登場した。



●庄内日報 2004年11月3日

## 堂々と町への提言

遊佐町の第2期活動を総括  
遊佐町の少年議員が、町の未来を真剣に提言した。少年議員は、町の活性化策として、観光振興や環境美化などを提言した。また、町の未来を真剣に提言した。少年議員は、町の活性化策として、観光振興や環境美化などを提言した。

●山形新聞 2004年12月27日

## 若者笑顔 町に活気

特産品販売 会話弾み、広がる交流  
遊佐町少年議員が、町の魅力をアピールする観光ポスターに登場した。少年議員は、町の魅力をアピールする観光ポスターに登場した。少年議員は、町の魅力をアピールする観光ポスターに登場した。



●庄内日報 2004年11月17日

大変だったが、去年より、を知ってもらえたと思城の人の優しさを感じ、も町民に少年議員の活動。喫茶店を運営し、地れた」と総括した。



若者の力をアピール  
理想の古里へ熱い思い

遊佐町の元少年町長赤塚緑さん。若者の力をアピールし、理想の古里へ熱い思いを込めて活動している。

●山形新聞 2004年6月9日



シカと頼みます  
観光振興折「角切筋」

遊佐町の観光振興折「角切筋」で、シカと頼みますというイベントが行われ、観光客の増加を期待している。

●山形新聞 2004年10月12日

商店街も元気づけた



「最終議会」で成果報告。少年議会の活動が商店街の活性化に貢献している。

●荘内日報 2004年12月12日



元気な若者と自然PR

遊佐町の若者が自然PR活動を行い、地域の魅力を発信している。

●山形新聞 2005年1月6日



宇賀地小に震災見舞い

山形県遊佐町の少年議会一行が訪問し、宇賀地小学校に震災見舞いを届けた。

●越南タイムズ 2005年3月10日



活動、大きな財産に

まちづくりを提言する少年町長の赤塚さん

遊佐町の少年議会は、まちづくりの提言を行い、大きな財産を残している。

●荘内日報 2004年12月28日

遊佐町少年町長・少年議員公選事業プロジェクト名簿

所属	職名	氏名
1 学校教育課	課長	阿部 鏡一
2 学校教育課	学校事務係長	菅原 清和
3 生涯学習課	課長	高橋 勤一
4 生涯学習課	社会教育係長・ 社会教育主事	渡会 隆志
5 議会事務局	事務局長	今野 熊治郎
6 議会事務局	次長・議事係長	金野 周悦
7 総務企画課	課長	小野 峯生
8 総務企画課	総務係主査	富樫 博樹 (選挙管理委員会書記)
9 総務企画課	補佐・企画係長	村井 仁 (事務局)
10 総務企画課	企画係主任	土門 良則 (事務局)
11 総務企画課	企画係主事	本間 裕行 (事務局)

おわりにかえて

はじめに、平成16年度少年町長・少年議員公選事業にご支援、ご協力をいただいたすべての皆様に心から感謝いたします。事業開始から2年目ということから、5月までの企画・選挙までの準備等、出だしはスムーズに進みましたが、選挙が終わり議会活動が始まると、有権者の意見の集約が進まず、実際に政策提言を行い実現する頃には、6月から始まった昨年の事業と同じ進行状況となってしまいました。事業を進める中で、少年議会内部での意見の違いがありましたが、自分達で議論して解決し、あきらめず何も無いところから生み出す力を身につけ、人間的に成長していく姿をみて、我々スタッフも大変感動し、また学ばされました。また、活動中、特に少年町長・少年議員の店「café la おーたむ」では、お店を支援して下さった地域の皆さん、また、来店して下さった地域の方々とのふれあいや、人と人とのつながりの大切さ、そして若者によせる地域の方々の期待を感じ取り、遊佐町をどうしていけばよいか、その中で自分には何が出来るかを真剣に考え議論するまでになりました。ぜひ少年議員のみなさんには、この活動をとおして学んだこと、感じ取った熱い想いは忘れないでいただきたいと願っています。「これからは若者の時代」と言われますが、現実には、若者がそういったことに気づく場面はそう多くはありません。これは、地域の中で次代を担う若者達が自分の力を発揮する場所・場が不足していることを意味します。それを解決するためには、我々行政や地域の大人が、彼らの力を信じ、じっくりと励まし向き合いながら支援していくことが必要とされます。まちづくりにおいて今しなければならぬことが浮き彫りになり、それこそ我々行政が全力で取り組まなければならないことだと改めて認識させられました。今回の事業をとおして、少年議員と共に我々スタッフも新たな視点を学び成長することができたと思っています。最後に、忙しい学校生活の中、少年議会のため努力を惜しまなかった個性的で元気な16人の若者達に心から感謝し、この経験により、彼らの未来がより明るく実り多きものになることを祈っています。

平成17年3月  
山形県遊佐町役場総務企画課企画係 村井 仁・土門 良則・本間 裕行



明日の遊佐町に  
ぼくたちは  
わたしたちは

**提案します。**

